

## マルチメディアプロジェクター

形名 **EX-SZ** **EM-B** **EX-S**  
**XG-MB70X**

## 取扱説明書



はじめに

基本的な使いかた

設置する

接続する

試してみる

便利な機能

付録



このたびはシャープマルチメディアプロジェクターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。  
ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。……6ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

## まず

### はじめに

もくじ.....	2	PDF取扱説明書の見かた (Windows®, Macintosh®) .....	12
この取扱説明書の見かた.....	4	各部のなまえとはたらき .....	13
付属品について .....	5	リモコンの使いかた .....	17
安全に正しくお使いいただくために .....	6	リモコンの使用範囲 .....	17
使用上のご注意 .....	10	乾電池の入れかた .....	17

### 基本的な使いかた

基本的な使いかた .....	18	プロジェクターを収納する .....	20
----------------	----	--------------------	----

### 設置する

本機を設置する .....	21	反転映像を投射するとき .....	22
本機の設置のしかた .....	21		

### 接続する

接続する .....	23	ビデオ機器を接続する .....	27
各入力端子とおもに接続する機器 .....	23	プロジェクターをコンピュータで制御する .....	29
接続する機器と使用するケーブル例 .....	24	RGB入力端子付きモニターを接続する .....	30
コンピュータを接続する .....	25	アンプやその他のオーディオ機器と 接続する .....	30
リモコンをワイヤレスマウスとして使用する .....	26		

## さあ

### 使ってみる

電源の入れかた/切りかた .....	31	本体の音量を調整する .....	35
投射のしかた .....	32	投射した映像と音声を一時的に消す .....	36
アジャスターを使って角度を調整する .....	32	画像の一部を拡大表示する .....	36
画面の台形歪みを補正する (キーストーン補正) .....	33	画像を静止状態にする .....	37
フォーカス(ピント)を調整する .....	34	投射する画像に合わせた映像モードを選ぶ .....	37
投射画像の大きさを調整する .....	34	高輝度モード/高コントラストモード 切換機能を使用する .....	37
入力を切り換える .....	35	入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ .....	38

## 便利な機能

メニュー内容一覧 .....	40	無信号時やオープニング時に投映する 画面を設定する(無信号時画面設定) ...	54
メニュー操作のしかた .....	42	消費電力を低減する(エコモード設定) ...	54
メニュー画面で調整する .....	42	無信号状態が続くときに電源を自動的に待機 状態にする(無信号時自動電源オフ機能) ...	55
メニュー画面で設定する .....	44	メニューを見やすい位置に設定する (メニュー位置設定) .....	55
<b>投映した映像を調整・設定する</b>		プロジェクターを不正に使用できないよう にする(システムロック設定) .....	56
<b>(映像調整メニュー)</b> .....	46	システムロックの他に本体の操作ボタンを ロックする機能について .....	57
映像モードを選ぶ .....	46	<b>設置時に設定しておく便利な機能</b>	
見やすい映像に調整する .....	46	<b>(オプション2メニュー)</b> .....	58
白レベル(白伸長)を調整する .....	47	「オプション2」メニューを有効にするために パスワードを設定する(パスワード設定) ...	58
色味を変える(色温度設定) .....	47	パスワードを忘れてしまったら .....	58
原画像に近い色合いにする(sRGB設定) ...	48	起動時に自動でフォーカス(ピント)を合わせる (オートフォーカス設定) .....	59
高輝度モード/高コントラストモード切換 機能を使用する(アイリス設定) ...	48	自動で画面の台形歪みを補正する (オートキーストーン設定) .....	59
INPUT1(入力1)/INPUT2(入力2)		内蔵スピーカーのオン/オフを設定する (スピーカー設定) .....	60
端子に接続した機器の信号タイプ を設定する(入力信号タイプ設定) ...	49	音声出力を設定する(音声出力設定) ....	60
<b>コンピュータの画面を調整・設定する</b>		投映環境に合わせた投映方式を選択する (投映方式設定) .....	61
<b>(同期調整メニュー)</b> .....	50	RS-232Cの通信速度を設定する (RS-232C設定) .....	61
縦縞模様やチャツキを軽減する(同期調整) ...	50	電源が待機状態時の消費電力をおさえる (モニター出力設定) .....	62
入力信号に合わせた解像度を選ぶ (特殊モード設定) .....	50	電源が待機状態時の消費電力をおさえる (LAN/RS232C設定) .....	62
コンピュータの画面を自動調整する (自動同期調整機能) .....	51	本機のネットワーク情報を確認する .....	63
入力信号の情報を確認する(入力信号確認) ...	51	設定値を工場出荷状態に戻す .....	63
<b>本機を楽しむための設定をする</b>		<b>画面表示言語を日本語以外に変更する</b>	
<b>(オプション1メニュー)</b> .....	52	<b>(言語選択メニュー)</b> .....	64
ランプ使用時間を確認する (ランプ時間(残率)) .....	52	画面に表示する言語を選択する(言語選択) ...	64
入力信号の種類によって、画像の表示を 切り換える(画面サイズ設定) .....	52		
画面に表示されている情報を消す (OSD表示) .....	53		
INPUT3(入力3)端子/INPUT4(入力4)			
端子に接続した機器の映像信号方 式を設定する(映像信号方式設定) ....	53		

## こんなときは

### 付録

お手入れのしかた .....	65	RGB入力信号(推奨信号)一覧表 .....	71
お知らせ表示について .....	66	故障かな?と思ったら .....	72
ランプを交換する .....	68	アフターサービスについて .....	74
ランプについて .....	68	お客様ご相談窓口のご案内 .....	75
ランプ使用上のご注意 .....	68	仕様 .....	76
ランプ交換時のご注意 .....	68	用語集 .....	77
ランプ交換のしかた .....	69	索引 .....	78
ランプ使用時間をリセットする .....	70		

# この取扱説明書の見かた

※画面表示やイラストは、説明のために簡略化してありますので、実際とは多少異なります。

## メニュー操作のしかた

メニューの操作は調整と設定の2つの方法があります。調整は次の手順に従って行います。  
(設定方法は44～45ページをご覧ください。)

使用するボタンです

使用するボタンです

使用するボタンです

---

## メニュー画面で調整する

例: 「明るさ」を調整するとき  
• 本体のボタンを使って操作することもできます。

1 **戻る**を押す  
• 選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 **右** または **左** を押し、調整するメニュー画面を選ぶ  
• 選ばれたメニュー画面のアイコンの色が変わります。

メニューアイコン	メニュー画面
	映像調整
	画角調整
	オプション1
	オプション2
	画質選択

**メモ**  
• 入力3または入力4のときは「同期調整」メニュー画面は表示されません。

入力1 (RGB)モードの「映像調整」メニュー画面例

表示される画面です

42

### お知らせ

- 特に気をつけていただきたい内容について説明しています。

### メモ

- 操作や設定時の制限事項や注意する内容について説明しています。

## こんなときは

お手入れをするときは

65ページ

故障かな?と思ったら

72、73ページ

索引

78ページ

# 付属品について

## 付属品

ご購入時には、リモコンや電源コードなどの付属品は収納ケースのポケットに入っています。



リモコン



単4形乾電池 (2本)



電源コード (1.8m)  
(この電源コードは  
XG-MB70X専用です)



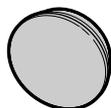
RGBケーブル (3m)



USBケーブル (3m)



収納ケース



レンズキャップ  
(装着出荷)

- CD-ROM
- 取扱説明書 (本書)
- クイックガイドラベル  
(貼り付けかたは、[14ページ](#)をご覧ください)
- 保証書 (箱に貼り付け)

## 別売品のご案内

■3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル (3m) AN-C3CP2

■DIN-D-sub RS-232Cアダプター (15cm) AN-A1RS

- コンピュータ側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できない場合がありますので、コンピュータの仕様をご確認ください。変換コネクター (市販品) が必要な場合があります。

■ランプユニット AN-MB70LP

- 本製品のICチップの中には、米国テキサスインスツルメンツ社の営業秘密が含まれているICチップがありますので、その内容をコピー、改変、適応、翻訳、配布、リバースエンジニアリング、リバースアセンブリリングもしくはディスアセンブリリングをすることは禁じられております。
- DLP™ (Digital Light Processing)、DMD™ (Digital Micromirror Device) は米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- Microsoft®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
- PC/ATは米国IBM社の登録商標です。
- Macintosh®はアップルコンピュータ・インクの米国および、その他の国における登録商標です。
- Adobe®、Adobe® Reader®はAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標または商標です。
- その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

# 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



## 警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



## 注意

人がケガをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

### 図記号の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

## 警告

煙が出ている、変なおいや音がするなど  
異常状態のときは電源プラグを抜く



- 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない



- この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

### 高圧注意

- サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあります。万一、さわると危険です。



- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

**警告**

**表示された電源電圧で使用する**



- 表示された電源電圧（交流100～240ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

**プロジェクターを落としたときは**



- この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

**レンズをのぞかない**



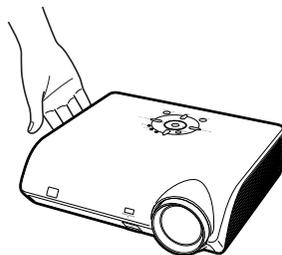
- 投映中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



**高温部には触れない**



- 投映中は、排気孔、ランプユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。



**不安定な場所に置かない**



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

**天井へ取り付けるときは**



- この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

**内部にもものや水などを入れない**



- この機器の開口部（通風孔など）から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 異物や水がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

**上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない**



- こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

**雷が鳴り出したら電源プラグには触れない**



- 感電の原因となります。

# 安全に正しくお使いいただくために(つづき)

## 警告

電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着した状態では使用しない

風呂、シャワー室では使用しない



- ホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



- 火災・感電の原因となります。

## 電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

## 注意

油煙、湯気、湿気、ホコリなどが多い場所に置かない

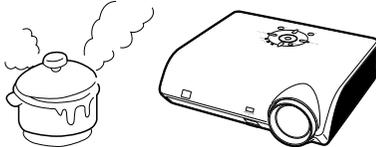
重いものを置かない



- 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。



- 火災・感電の原因となることがあります。調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。



- この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。

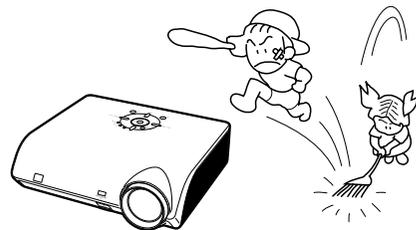
通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから20cm以上はなして設置してください。



- 次のような使い方はしないでください。この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。



置台に据えつけるときは



- キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

**⚠ 注意**

<p><b>設置場所を変える場合は必ず接続線ははずす</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設置場所を変える場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。</li> </ul>	<p><b>電源コードを熱器具に近づけない</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</li> </ul>
<p><b>電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。</li> </ul>	<p><b>旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。</li> </ul>
<p><b>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</b></p>	<p><b>お手入れのときは電源プラグを抜く</b></p>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。</li> </ul>
<p><b>電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。</li> </ul>	<p><b>3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。</li> </ul>
<p><b>指定以外の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない</b></p>	<p><b>電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意する</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池を機器内に挿入する場合極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 機器で指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。</li> </ul>	

# 使用上のご注意

## 設置するときは次の点にご注意ください

### ホコリ、湿気の少ないところへ

- 湿気やホコリの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

### 直射日光や、照明の光はさけてください

- スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

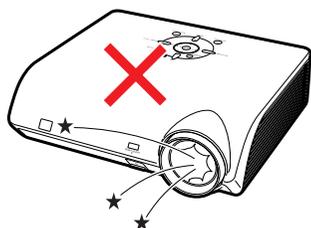
### プロジェクターは12°以上傾けないようにしてください

- 設置範囲は±12°までです。



### 衝撃を与えないでください

- レンズには、特にご注意ください表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



### 高温、低温の場所はさけてください

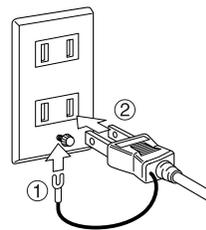
- 使用温度範囲 5℃～40℃
- 保存温度範囲 -20℃～60℃

### 排気孔や吸気孔をふさがないように

- 排気孔側に壁やモノがある場合は、20cm以上スキ間をあけて設置してください。
- 排気孔や吸気孔をふさがないように設置してください。
- 冷却ファンがふさがれると、内部温度上昇のため保護回路が働き自動的に待機状態になる場合があります。このようなときはプロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、10分以上そのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがらない場所に設置してもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。

### 電源コードの接続について

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。



## 取り扱い時のご注意

- 取り扱うときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、長時間使用しない、または収納する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上行ってください。
- 取り扱うときは、レンズ部を持たないでください。
- 収納するときは、レンズキャップを取り付けてください。(13ページ)
- 直射日光の当たる場所や、熱器具などの近くに放置しないでください。収納ケースやプロジェクターの変形・変色の原因になります。

## 接続機器について

- プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。
- 接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

## 使用時のご注意

### 目をときどき休めてください

- 連続して長い時間画面を見ていると目が疲れますので、ときどき目を休めてください。

## ランプ交換に関する注意

- 「ランプについて」(68ページ)もご覧ください。
- 廃棄の方法について  
このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ(HIDランプ)は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

## ランプユニットに関する注意

- ランプが破裂するとガラス破片でケガをするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

## 海外でご使用になるときは

- お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国に合った電源コード(別売品)をご使用ください。

・この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

# PDF取扱説明書の見かた(Windows®, Macintosh®)

本機に付属のCD-ROMの中には、PDF取扱説明書が収録されています。このPDF取扱説明書を見るためには、Adobe社のAdobe® Reader®が必要です。お持ちのコンピュータ（Windows®やMacintosh®コンピュータ）にAdobe® Reader®がインストールされていない場合は、インターネット（<http://www.adobe.co.jp>）からAdobe® Reader®をダウンロードしてください。

## PDF取扱説明書にアクセスする

### Windowsコンピュータの場合

- ① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
- ② “マイコンピュータ” アイコンをダブルクリックする。
- ③ “CD-ROM” ドライブをダブルクリックする。
- ④ プロジェクターの取扱説明書を見たいときは
  - 1) “MANUALS” フォルダをダブルクリックする。
  - 2) “JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。
  - 3) “MB70\_J.PDF” ファイルをダブルクリックする。

#### セットアップガイドを見たいときは

- 1) “SETUP” フォルダをダブルクリックする。
- 2) “JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。
- 3) “SE\_MB7\_J.PDF” ファイルをダブルクリックする。

### Macintoshコンピュータの場合

- ① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
- ② “CD-ROM” ドライブをダブルクリックする。
- ③ プロジェクターの取扱説明書を見たいときは
  - 1) “MANUALS” フォルダをダブルクリックする。
  - 2) “JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。
  - 3) “MB70\_J.PDF” ファイルをダブルクリックする。

#### セットアップガイドを見たいときは

- 1) “SETUP” フォルダをダブルクリックする。
- 2) “JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。
- 3) “SE\_MB7\_J.PDF” ファイルをダブルクリックする。

### お知らせ

- ・マウスを使ってダブルクリックしてもPDFファイルを開くことができない場合は、Adobe Readerをまず起動させてから、“ファイル” “開く” メニューを使ってPDFファイルを開いてください。

## セットアップガイド (PDFファイル) のもくじ

セットアップガイドはCD-ROMに入っています。

画面サイズと投射距離 .....	2	RS-232CまたはTelnet経由で	
本体のコネクターのピン配置 .....	3	本機を設定する .....	17
RS-232C仕様とコマンド .....	4	RS-232CまたはTelnet経由で	
本機のネットワーク設定をする .....	6	本機を制御する .....	20
本機をLAN経由で制御する .....	12	困ったときは .....	27
		寸法図 .....	30

# 各部のなまえとはたらき

■の中の数字は参照ページを示します。

## 本体

### 天面操作部

**ON(電源入)ボタン** 31  
電源を入れます。

**STANDBY(スタンバイ)ボタン** 31  
電源を待機状態にします。

**KEYSTONE(キーストーン補正)ボタン** 33  
投射角度により生じる台形歪みを補正する画面を表示します。

**ENTER(決定)ボタン** 42  
メニューで選択調整した項目を決定します。

**AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン** 51  
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

**MENU(メニュー)ボタン** 42  
各種設定・調整用の画面を表示します。

14 電源表示

14・66 ランプ表示

14・66 温度モニター表示

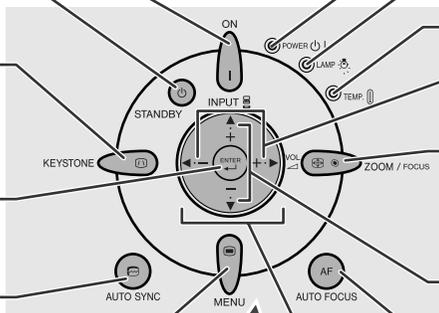
35 **VOLUME(音量)ボタン**  
スピーカーからの音量を調整します。

34 **ZOOM/FOCUS(ズーム/フォーカス)ボタン**  
投映画像の拡大/縮小(ズーム)や、ピント合わせをするときに押します。

35 **INPUT(入力切替)ボタン**  
入力モード(入力1、2、3、4)を切り換えます。

34 **AUTO FOCUS(オートフォーカス)ボタン**  
自動的にピント合わせをします。

42 **カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)**  
メニュー設定や、その他の設定に使用します。



### 前面/側面

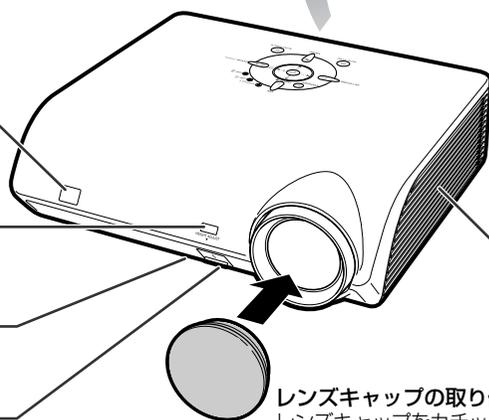
**リモコン受信部** 17

**オートフォーカスセンサー** 34

**アジャスター (プロジェクターの底部)** 32

**高さ調整ボタン** 32

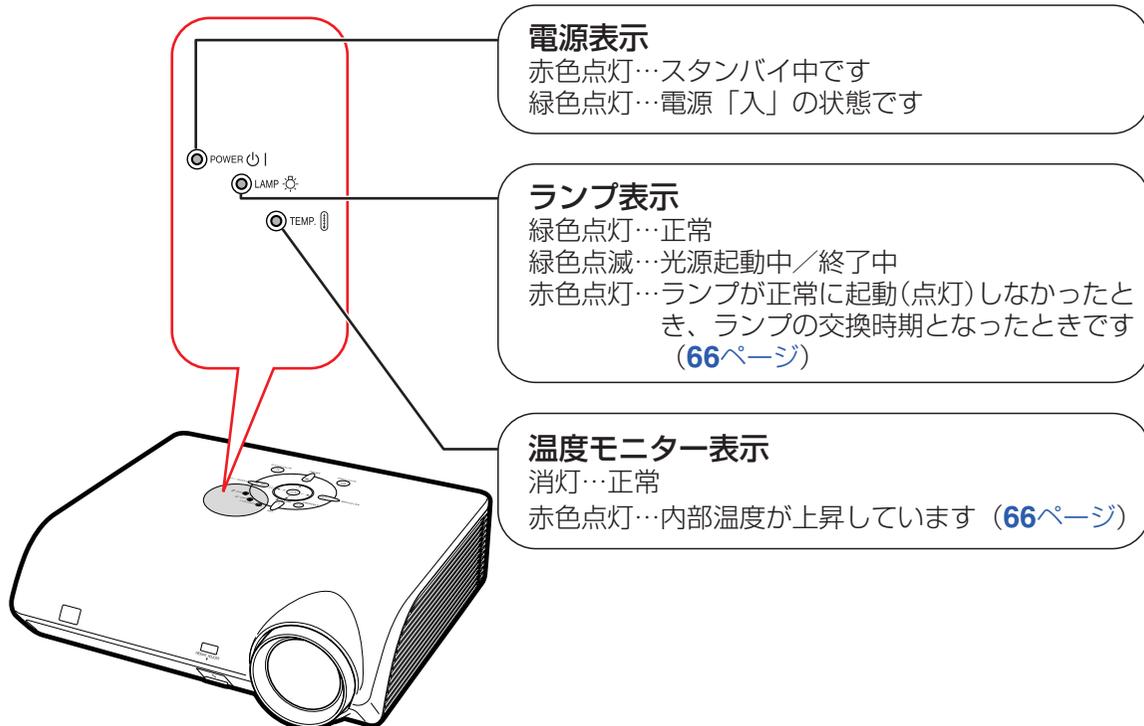
60 **スピーカー**



**レンズキャップの取り付け**  
レンズキャップをカチッと音がするところまで、はめ込みます。  
**レンズキャップの取り外し**  
レンズキャップをまっすぐ引き抜きます。

# 各部のなまえとはたらき(つづき)

## 本体のランプ表示について



### 電源表示

赤色点灯…スタンバイ中です  
緑色点灯…電源「入」の状態です

### ランプ表示

緑色点灯…正常  
緑色点滅…光源起動中／終了中  
赤色点灯…ランプが正常に起動(点灯)しなかったとき、ランプの交換時期となったときです  
(66ページ)

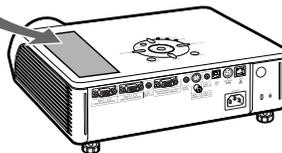
### 温度モニター表示

消灯…正常  
赤色点灯…内部温度が上昇しています (66ページ)

### クイックガイドラベル

■クイックガイドラベル(付属品)には設定手順が簡単に説明されていますので、プロジェクター本体に貼ることをおすすめします。本体に貼る場合は、キャビネットの上面に貼ってください。このとき、排気孔や吸気孔をふさぐことがないように、右図で表示されている場所以外へは貼らないでください。

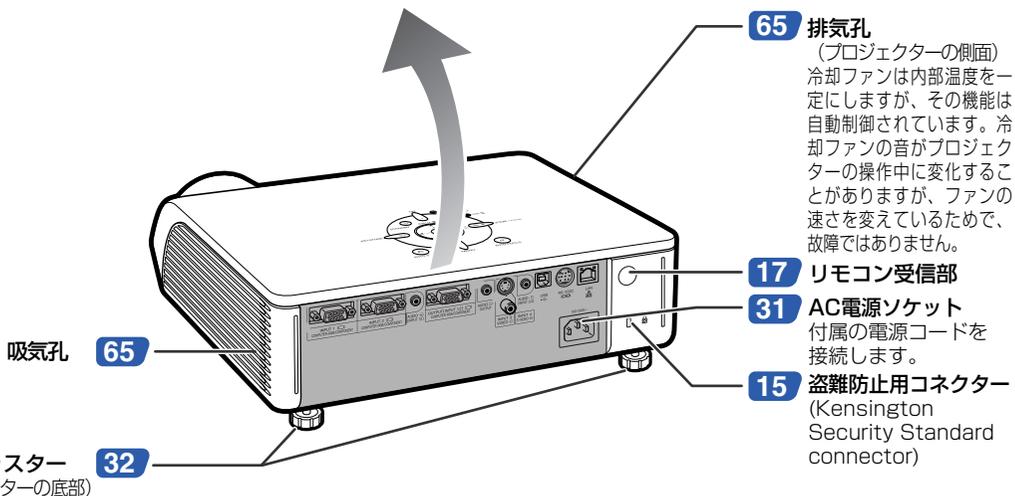
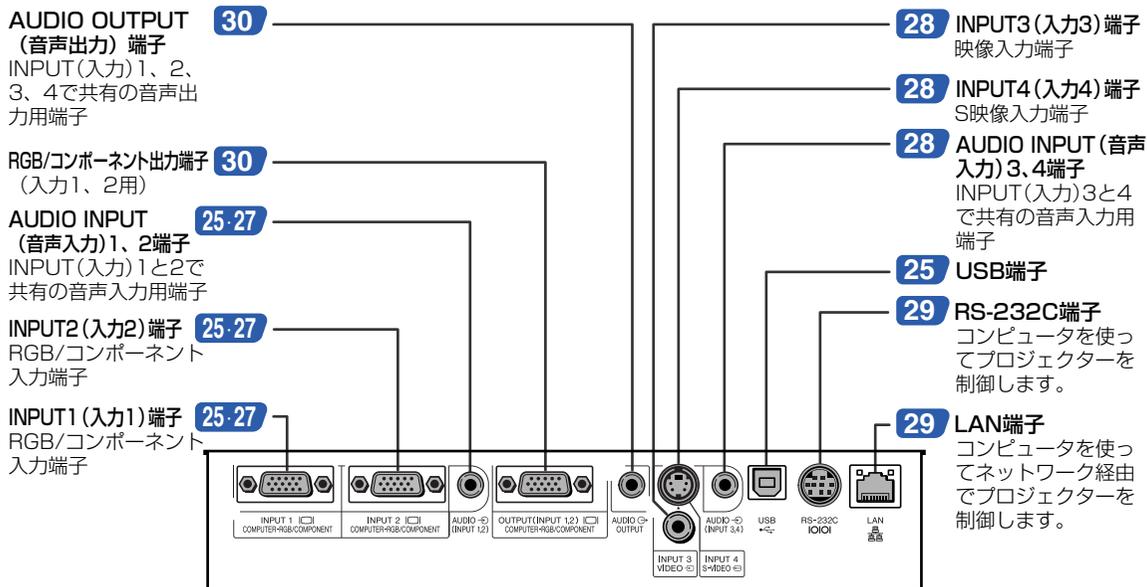
### クイックガイドラベル



の中の数字は参照ページを示します。

## 本体後面

**後面端子** …………… 詳しくは**23ページ**の「各入力端子とおもに接続する機器」をご覧ください。



### 盗難防止用コネクターについて

- 市販の盗難防止用ケーブル (Kensington社製) などを接続することができます。

#### メモ

盗難防止用コネクターは、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。

# 各部のなまえとはたらき(つづき)

■の中の数字は参照ページを示します。

## リモコン

**STANDBY(スタンバイ) ボタン**  
電源を待機状態にします。

**ZOOM(ズーム) ボタン**  
投映画像を拡大/縮小します。

**KEystone(キーストーン補正) ボタン**  
投映角度により生じる台形歪みを補正する画面を表示します。

**L-CLICK/ENTER (左クリック/決定) ボタン**  
26-42  

- 本機に付属のUSBケーブルを使ってパソコンのUSB端子に接続しているときは、左クリックボタンとして働きます。
- メニュー画面を表示しているときは、メニューで選択・調整した項目を決定します。

**FREEZE(静止画) ボタン**  
37  
映像を静止画の状態にします。

**ENLARGE +/- (拡大/縮小) ボタン**  
36  
投映画像を部分拡大/縮小します。

**INPUT(入力切換) 1, 2, 3, 4 ボタン**  
35  
入力モードを切り換えます。

**AUTO SYNC(自動同期調整) ボタン**  
51  
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

**ON(電源入) ボタン**  
電源を入れます。

**AUTO FOCUS(オートフォーカス) ボタン**  
34  
自動的にピント合わせをします。

**FOCUS(フォーカス) ボタン**  
34  
投映画像のピントを合わせます。

**IRIS(アイリス) ボタン**  
37  
「高輝度モード」「高コントラストモード」を切り換えます。

**MENU(メニュー) ボタン**  
42  
各種設定・調整用の画面を表示します。

**26-42 マウス/カーソルボタン (▲/▼/◀/▶)**  
26-42  

- 本機に付属のUSBケーブルを使ってパソコンのUSB端子に接続しているときは、マウスボタンとして働きます。
- メニュー画面を表示しているときは、カーソルボタンとして働きます。

**26-42 R-CLICK/UNDO (右クリック/戻す) ボタン**  
26-42  

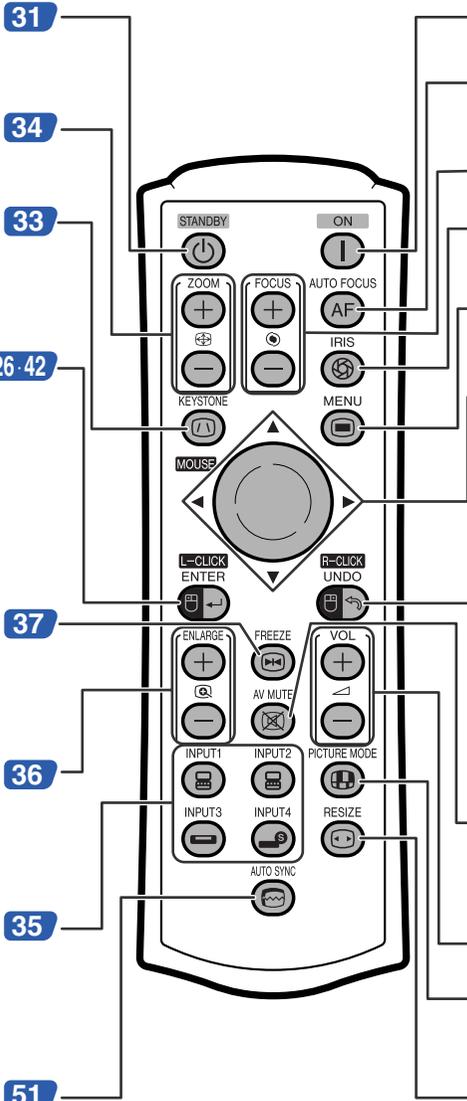
- 本機に付属のUSBケーブルを使ってパソコンのUSB端子に接続しているときは、右クリックボタンとして働きます。
- メニュー画面を表示しているときは、1つ前の操作状態や前画面に戻します。

**36 AV MUTE (AVミュート) ボタン**  
36  
プロジェクターから投映されている映像とプロジェクターの音声を一時的に消します。

**35 VOLUME(音量) ボタン**  
35  
スピーカーからの音量を調整します。

**37 PICTURE MODE(映像モード) ボタン**  
37  
映像に合わせて映像モードを切り換えます。

**38 RESIZE(画面サイズ切換) ボタン**  
38  
映像に合わせて画面サイズを切り換えます。



### メモ

- マウス/カーソルボタン以外のボタンは、暗いところでも見やすい蓄光ラバーを採用しています。(蓄光ラバーの発光の強さは、時間の経過とともに減衰します。)

# リモコンの使いかた

## リモコンの使用範囲

リモコンの使用範囲は図のとおりです。

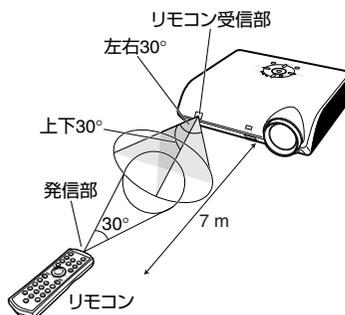
### メモ

- リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

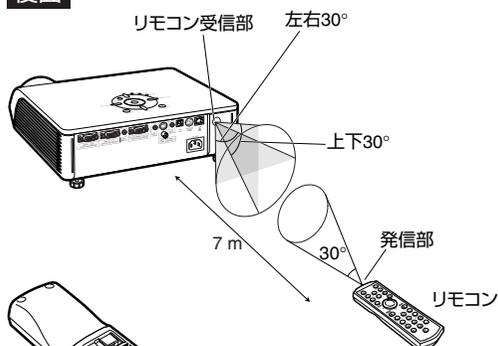
### リモコン使用上のご注意

- 衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。
- 蛍光灯の下では、リモコンの動きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。

### 前面



### 後面



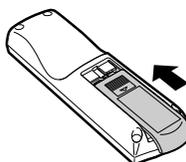
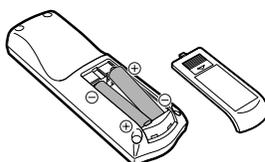
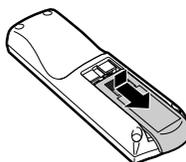
## 乾電池の入れかた

**1** カバーを矢印の方向にスライドさせ、開ける

**2** 付属の乾電池(単4形2本)を入れる

- プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。

**3** カバーを矢印の方向にスライドさせ、閉める



乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

### ⚠ 注意

- 乾電池の⊕極と⊖極は、表示どおり正しく入れてください。
- 乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときや乾電池を使い切ったときは、液がもれて故障の原因となる恐れもありますので、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

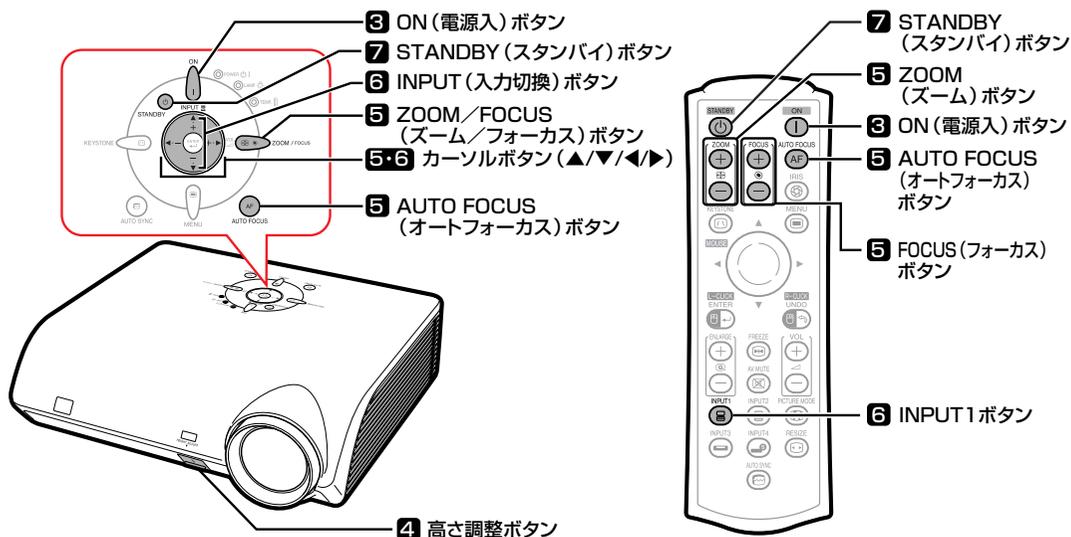
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。

# 基本的な使いかた

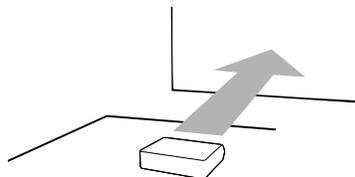
このページでは、本機の基本的な使いかた（コンピュータを接続して投映）を説明しています。詳しくは各項目に記載されているページをご覧ください。

## 設置から投映まで

ここでは、本機とコンピュータの接続を例に説明します。

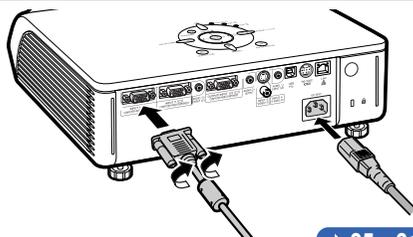


### 1. 本体を映したいスクリーンに向けて置く



→ 21ページ

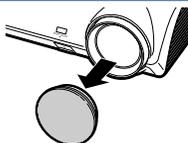
### 2. 電源コードおよびコンピュータを接続する



ほかの機器を接続する場合は、27、28ページをご覧ください。

→ 25、31ページ

### 3. レンズキャップを外し、電源を入れる

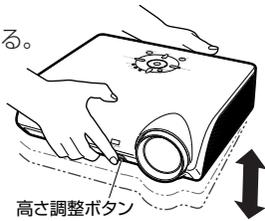


→ 31ページ

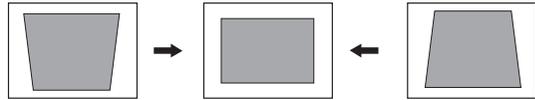
## 4. 投映角度を調整する

投映角度を調整する

- アジャスターで調整する。



- 本機は映像の台形歪みを自動的に補正する「オートキーストーン機能」を搭載しており、上下に約12度までの傾きであれば自動的に補正します。

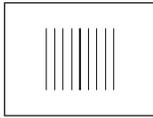


➡ 32ページ

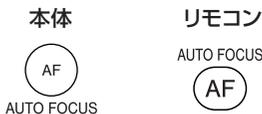
## 5. 投映された画像のピントとサイズを調整する

### 1. ピントを合わせる

- 本機を起動したとき、オートフォーカス機能により自動的にフォーカスパターンを表示してフォーカス(ピント)の自動調整を一度実行します。



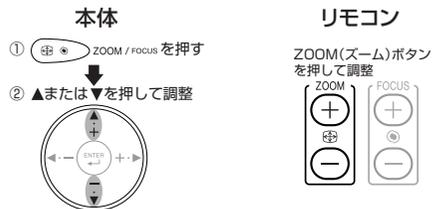
- 再度オートフォーカスを実行したいときは、AUTO FOCUS (オートフォーカス) ボタンを押す。



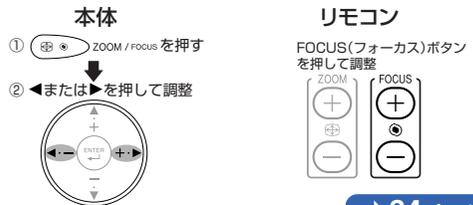
フォーカスパターンが表示され、フォーカスが自動調整されてフォーカスパターンが消えます。

### 2. 画面サイズを合わせる

- ズームを調整して、投映映像の大きさを調整する。



- ピントが合わないときや微調整するときには、手でフォーカス調整する。



➡ 34ページ

## 6. 入力モードを選ぶ

INPUT (入力切替) ボタンで「入力1」を選ぶ



- 本体の▲または▼INPUTボタンを押すと、**入力1↔入力2↔入力3↔入力4**の順番で切り換わります。
- リモコンで入力モードを切り換えるときは、(INPUT1)/(INPUT2)/(INPUT3)/(INPUT4)を押して切り換えます。

➡ 35ページ

## 7. 電源を切るときは

STANDBY (スタンバイ) ボタンを押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す



- 冷却ファンが停止してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

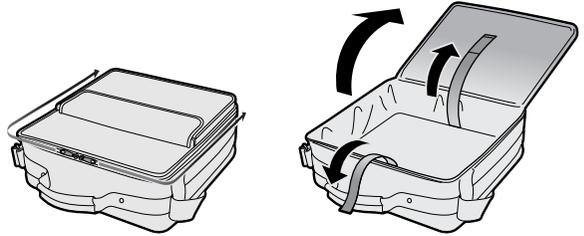
➡ 31ページ

# プロジェクターを収納する

## 収納ケースの使いかた

プロジェクターを収納するときは、レンズキャップを装着して、付属の収納ケースに入れてください。

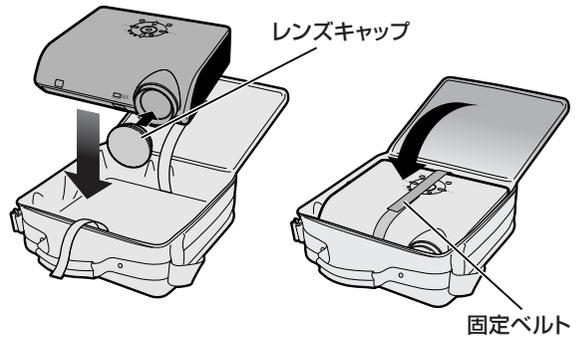
### 1 カバーを開ける



### 2 本体を収納ケースの中に入れる

#### お知らせ

- 本体が十分冷えてから収納してください。
- レンズを保護するため、レンズキャップは必ず装着してください。
- レンズ側が収納ケースの取っ手側に向くように入れてください。
- 本体を固定するため、固定ベルトを留めてください。

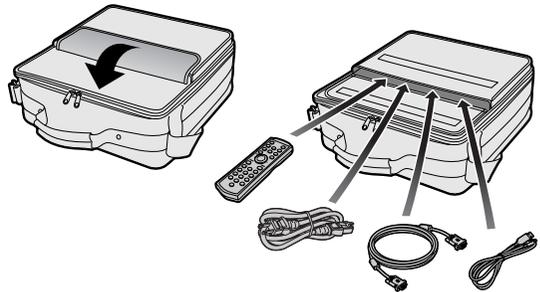


### 3 カバーを閉める

### 4 付属品を収納ケース前部のポケットに収納する

#### お知らせ

- この収納ケースはプロジェクターの収納専用です。



# 本機を設置する

## 本機の設置のしかた

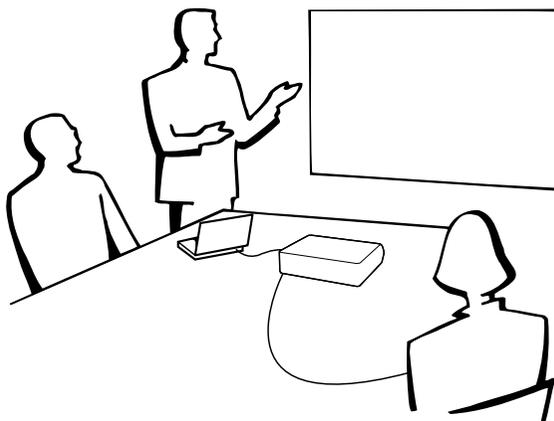
プロジェクターを水平な状態にして（アジャスターを使わない状態）、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。

### メモ

- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心（水平方向）にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んで見にくくなります。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。

## 基本的な設置（前面からの投映）

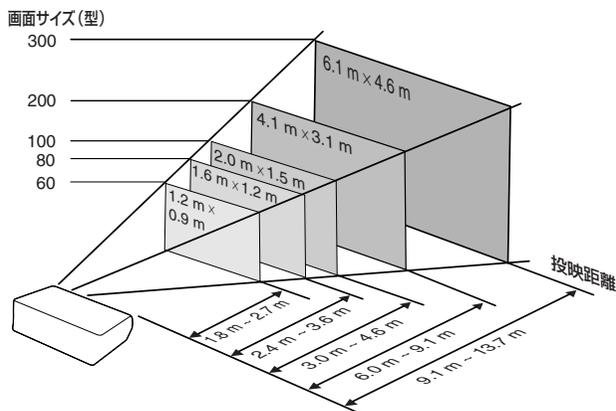
- 投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。（同梱のCD-ROMに収録の「セットアップガイド」の2ページ参照）



### 投映画像の大きさと設置距離のめやす

詳細については、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップガイド」をご覧ください。

例： コンピュータ入力時の「標準」モード（ビデオ入力時は「ズーム」モード）



# 本機を設置する(つづき)

## 反転映像を投映するとき

### スクリーン背後からの投映

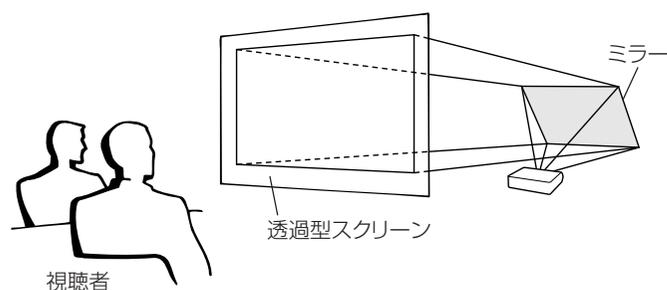
- 透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。
- 「オプション2」メニューの「投映方式」で「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(61ページ)



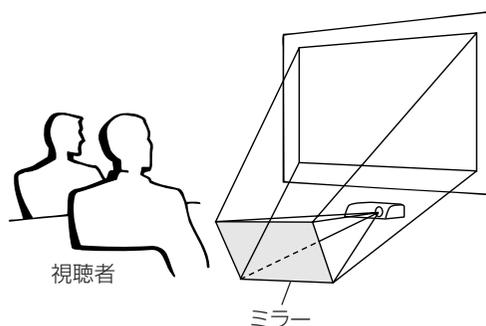
### ミラーを使った投映

- レンズの正面にミラー（表面鏡）を設置してください。
- 図のように透過型スクリーンを視聴者とミラーの間に設置し投映するときは、「オプション2」メニューの「投映方式」で「フロント」に設定してください。(61ページ)
- 視聴者側にミラーを置くときは、「オプション2」メニューの「投映方式」で「リア」に設定してください。(61ページ)

「フロント」に設定



「リア」に設定



### お知らせ

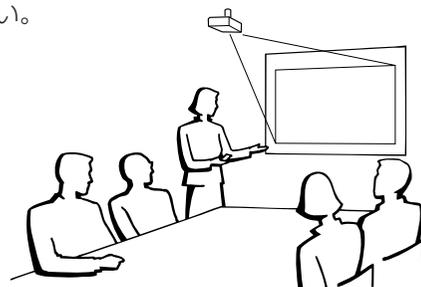
- ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

### 天井取り付けによる投映

- 天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニットおよび天吊り用取り付けアダプター「AN-60KT」が必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。

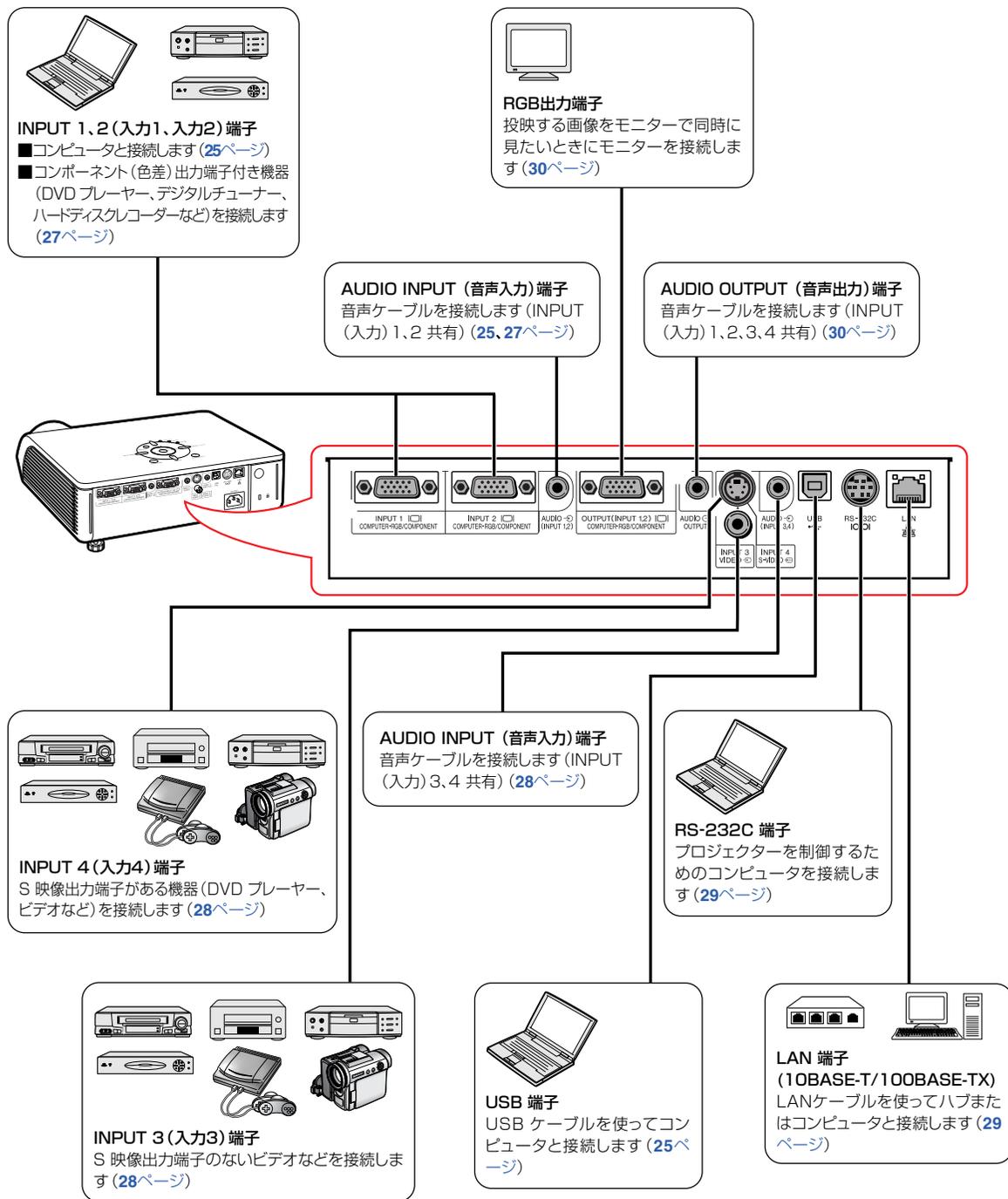
別売の天吊り用取り付けアダプター「AN-60KT」の取り付けは、天吊り用取り付けアダプターに付属されている説明書をご覧ください。

- 「オプション2」メニューの「投映方式」で「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。(61ページ)



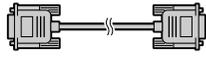
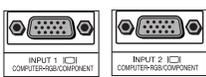
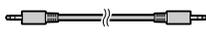
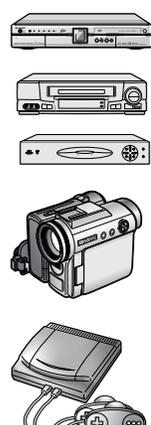
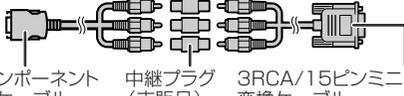
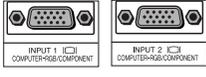
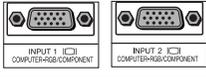
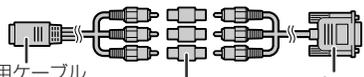
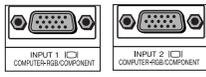
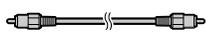
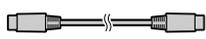
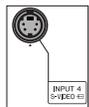
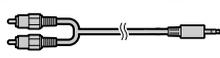
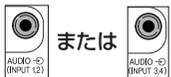
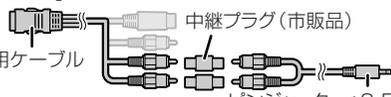
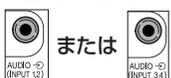
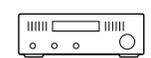
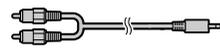
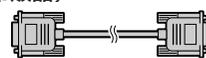
# 接続する

## 各入力端子とおもに接続する機器



# 接続する機器と使用するケーブル例

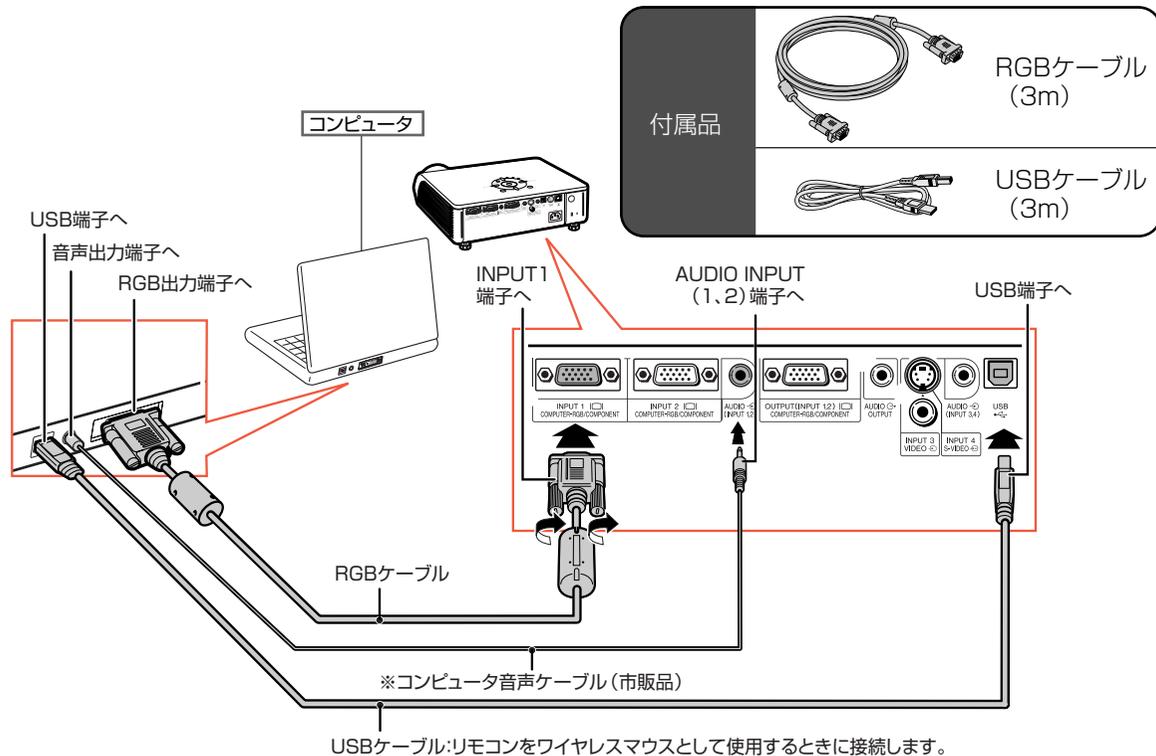
- 使用しているケーブル名称は一例です。接続する機器によっては機器専用のケーブルを使用したり、変換プラグやアダプターが必要となる場合があります。詳しくは本機に接続する機器の取扱説明書で確認してください。

接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
 コンピュータ	RGB映像出力端子	RGBケーブル (付属品) 	INPUT 1, 2 
	コンピュータ音声出力端子	コンピュータ音声ケーブル (φ3.5ステレオミニタイプ/市販品) 	AUDIO INPUT 
 AV機器	D映像出力端子	中継プラグ等でつないでください。  D-コンポーネント変換ケーブル (市販品)    中継プラグ (市販品)    3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル (別売品:AN-C3CP2)	INPUT 1, 2 
	コンポーネント映像出力端子	3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル (別売品:AN-C3CP2) 	INPUT 1, 2 
	専用ケーブルを使う端子の場合	中継プラグ等でつないでください。  専用ケーブル    中継プラグ (市販品)    3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル (別売品:AN-C3CP2)	INPUT 1, 2 
	映像出力端子	映像ケーブル (市販品) 	INPUT 3 
	S映像出力端子	S映像ケーブル (市販品) 	INPUT 4 
	音声出力端子	音声ケーブル:ピンジャックφ3.5ステレオミニタイプ変換ケーブル (市販品) 	AUDIO INPUT 
	専用ケーブルを使う端子の場合	中継プラグ等でつないでください。  専用ケーブル    中継プラグ (市販品)    ピンジャックφ3.5ステレオミニタイプ変換ケーブル (市販品)	AUDIO INPUT 
 アンプ、オーディオ機器	音声入力端子	音声ケーブル:ピンジャックφ3.5ステレオミニタイプ変換ケーブル (市販品) 	AUDIO OUTPUT 
 モニター	RGB映像入力端子	RGBケーブル (市販品) 	OUTPUT 

# コンピュータを接続する

接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わった後で、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。

接続の際は、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。



※モノラル音声ケーブルを使用した場合、ステレオ音声ケーブルに比べ音量レベルが約半分になります。

## メモ

- USB 接続をすることでマウス機能を使用することができます。(26ページ)
- 対応しているコンピュータの表示モードについては、「RGB入力信号 (推奨信号) 一覧表」(71ページ)をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
- Macintosh と接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター(75ページ)へお問い合わせください。
- お使いのコンピュータによっては、出力信号を外部出力に切り換えないと映像が表示されない場合があります。外部出力への切り換え方法についてはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

## 「プラグ&プレイ」機能 (15ピン端子に接続する)

- 本機はVESA-standard DDC 1/DDC 2Bに準拠しています。本機とVESA DDC準拠のコンピュータでは、設定内容を送受信 (通信) しますので、早く簡単にセットアップすることができます。
- 「プラグ&プレイ」機能を使用する前には、必ずプロジェクターの電源を先に入れてから、接続したコンピュータの電源を入れてください。

## メモ

- 本機のDDCプラグ&プレイ機能はVESA DDC互換コンピュータを接続した場合のみ操作できます。

# コンピュータを接続する(つづき)

## リモコンをワイヤレスマウスとして使用する

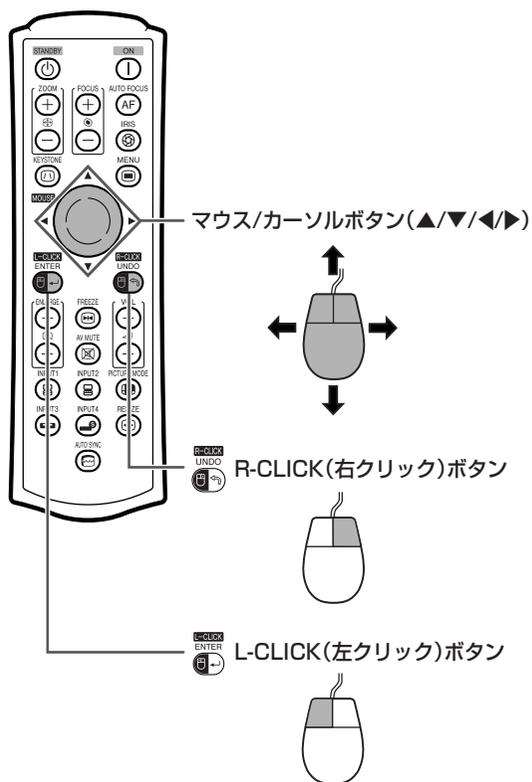
付属のRGBケーブルとUSBケーブルで本体とコンピュータを接続すると(25ページ)、コンピュータのマウス操作を付属のリモコンで操作することができます。

接続した後は、マウスポインタを次のように操作できます。

- ポインタを動かすとき  
マウス/カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)を押します。
- 左クリックするとき  
L-CLICK ボタンを押します。
- 右クリックするとき  
R-CLICK ボタンを押します。
- クリックボタンがひとつのマウス(Macintoshなど)の場合  
L-CLICK ボタンまたは R-CLICK ボタンを押します。(L-CLICK ボタン、R-CLICK ボタンは同じ働きをします。)

### メモ

- コンピュータ側でUSB接続が認識されたことを確認してください。
- 画面表示とメニュー画面が表示されているとマウス機能の操作はできません。
- XGAより解像度の高い信号を入力している場合で、画面サイズを「ドットバイドット」に設定したときに「画面サイズ」表示が出ている間は、マウス機能の操作はできません。

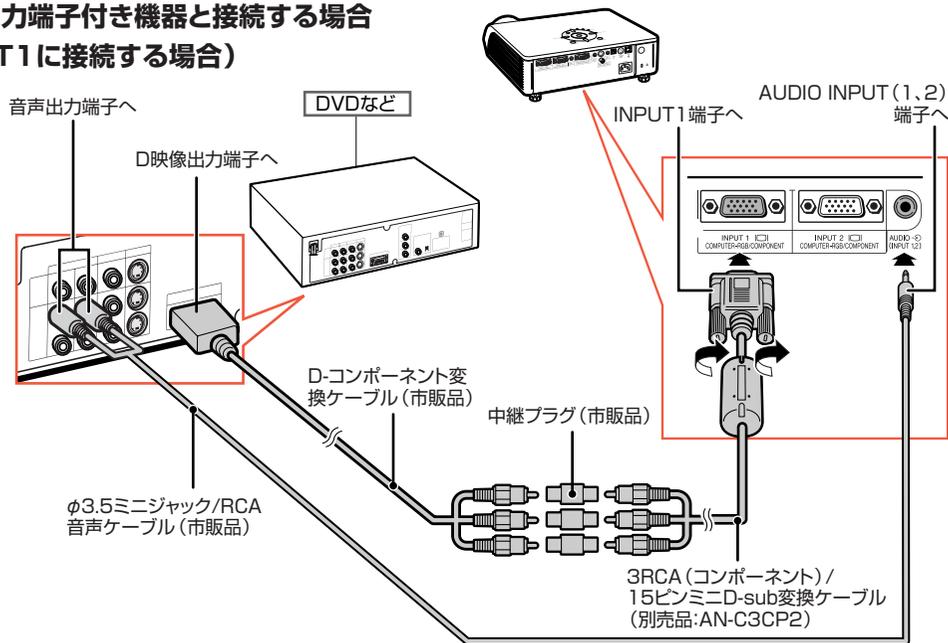


# ビデオ機器を接続する

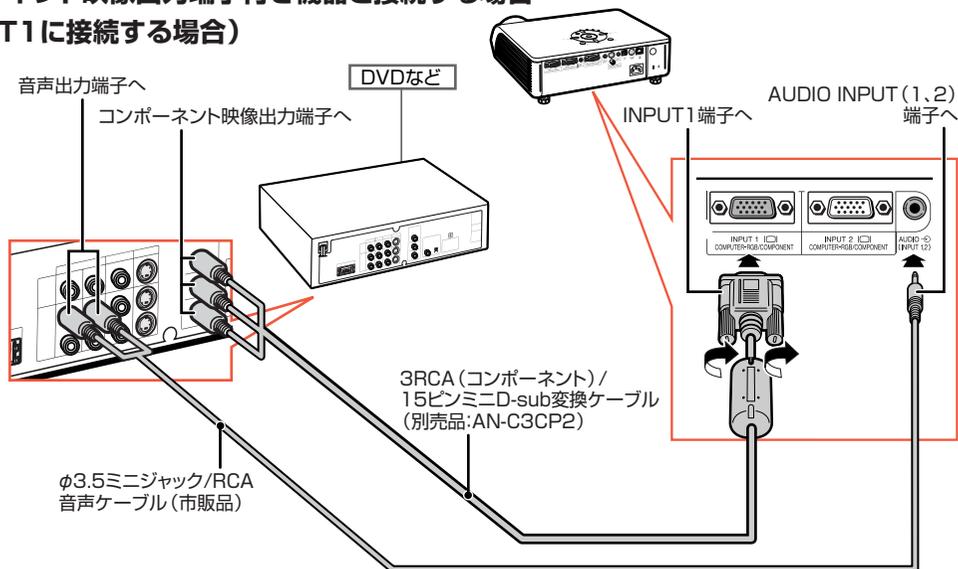
本機はコンポーネント（色差）、S映像、映像に対応した映像入力端子を装備しています。接続する機器の端子に合わせて、次のように接続してください。

映像はコンポーネント映像、S映像、映像の順番で美しい映像を楽しむことができます。コンポーネント映像出力端子を装備した機器と接続するときは本機のCOMPUTER-RGB/COMPONENT端子（INPUT1またはINPUT2）と接続することをおすすめします。

## D映像出力端子付き機器と接続する場合 (INPUT1に接続する場合)



## コンポーネント映像出力端子付き機器と接続する場合 (INPUT1に接続する場合)

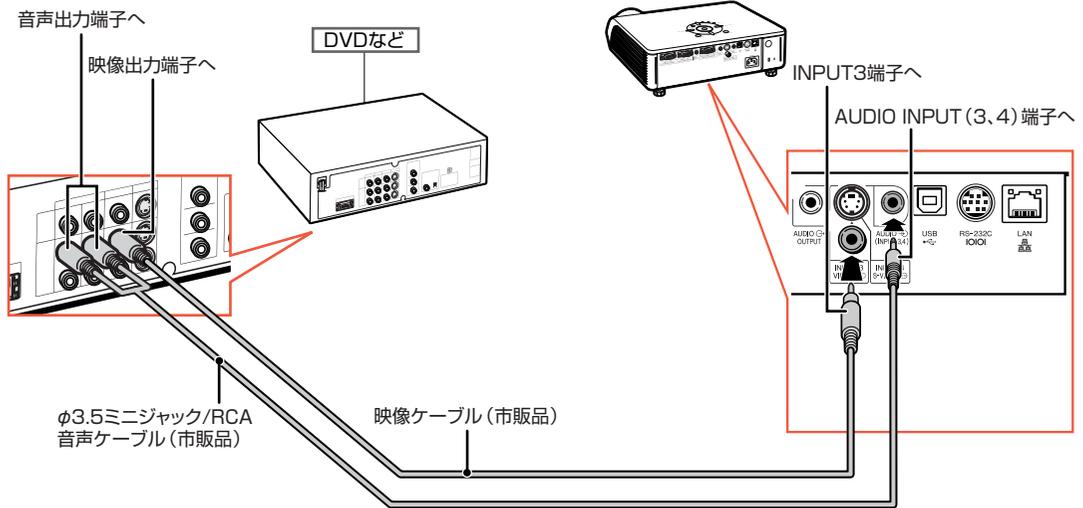


メモ

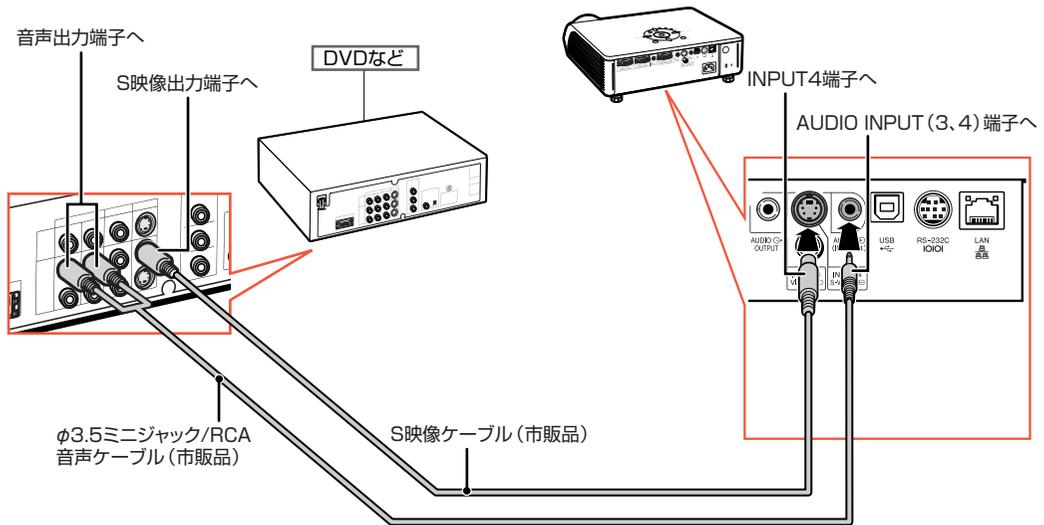
- 音声ケーブル(市販品)は、φ3.5ミニジャック/RCA音声ケーブルをご用意ください。

# ビデオ機器を接続する(つづき)

## 映像出力端子付き機器と接続する場合



## S映像出力端子付き機器と接続する場合



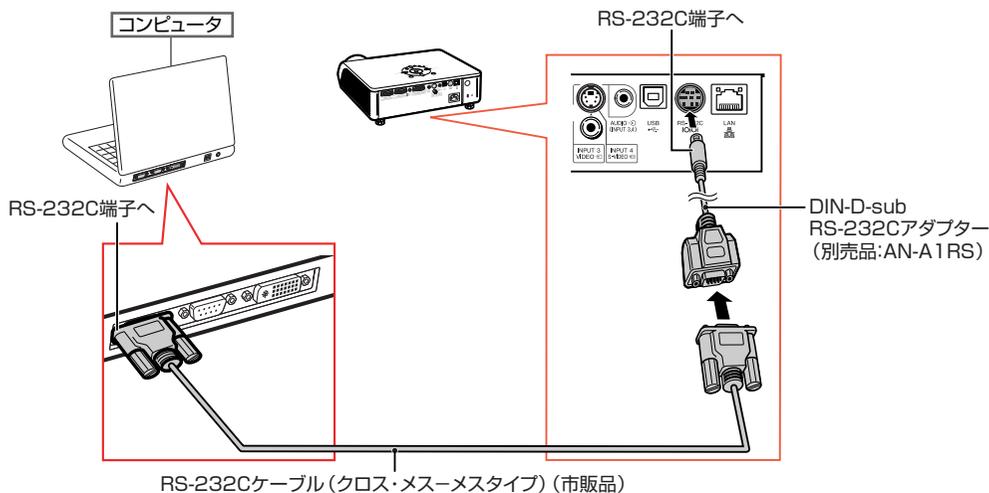
### メモ

- 音声ケーブル(市販品)は、φ3.5ミニジャック/RCA音声ケーブルをご用意ください。

# プロジェクターをコンピュータで制御する

プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル (RS-232C) ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作することができます。また、LAN端子にLANケーブルを接続すると、ネットワーク経由でプロジェクターを制御することができます。詳しくは同梱のCD-ROMに収録の「セットアップガイド」をご覧ください。

## コンピュータをRS-232CケーブルとDIN-D-sub RS-232Cアダプターを使って接続するとき



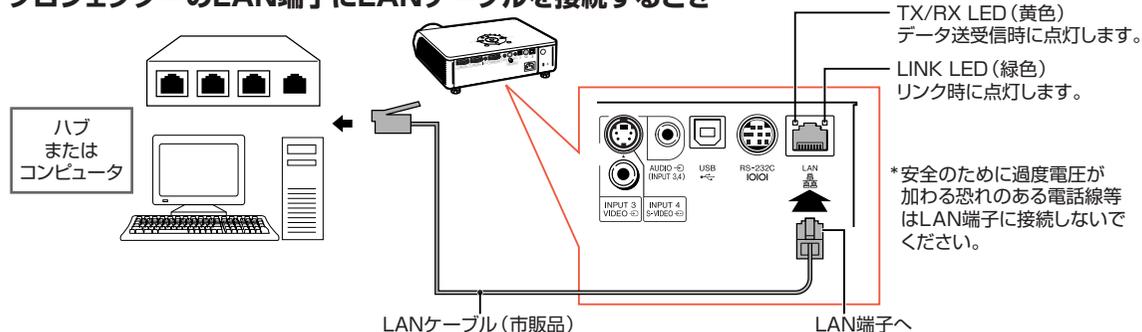
### メモ

- RS-232C端子からの制御は、お使いのコンピュータポートが正しく設定されていないと機能しない場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- RS-232Cの仕様とコマンドについては、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップガイド」をご覧ください。

### お知らせ

- コンピュータ側のシリアル (RS-232C) ポート以外には接続しないでください。コンピュータまたは、プロジェクターが破損する恐れがあります。
- コンピュータの電源が入っているときにRS-232Cケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータの故障の原因になることがあります。

## プロジェクターのLAN端子にLANケーブルを接続するとき

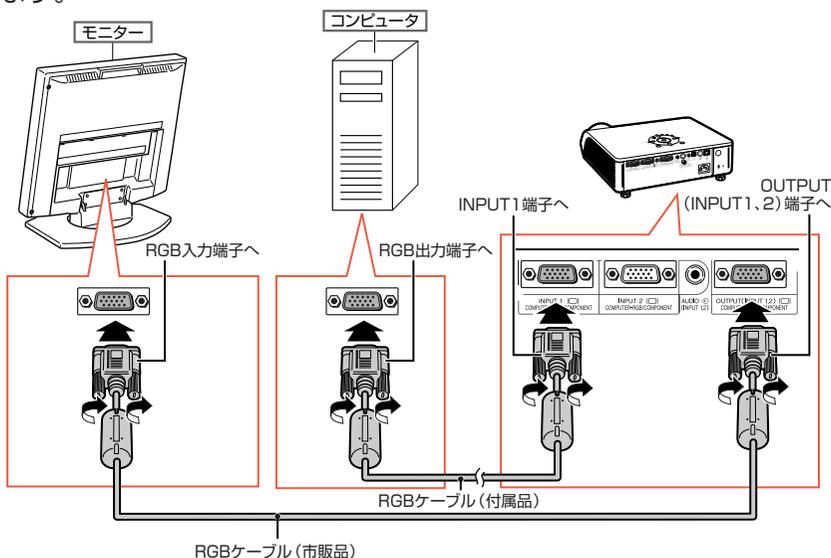


### メモ

- LANケーブルはカテゴリー5を使用してください。
- コンピュータと本機を1対1で接続する場合には、クロスタイプのケーブルを使用してください。
- ハブに本機を接続する場合には、ストレートタイプのケーブルを使用してください。

# RGB入力端子付きモニターを接続する

本機はRGBケーブルを2本使って、コンピュータの出力をプロジェクターとモニターの両方で表示させることができます。

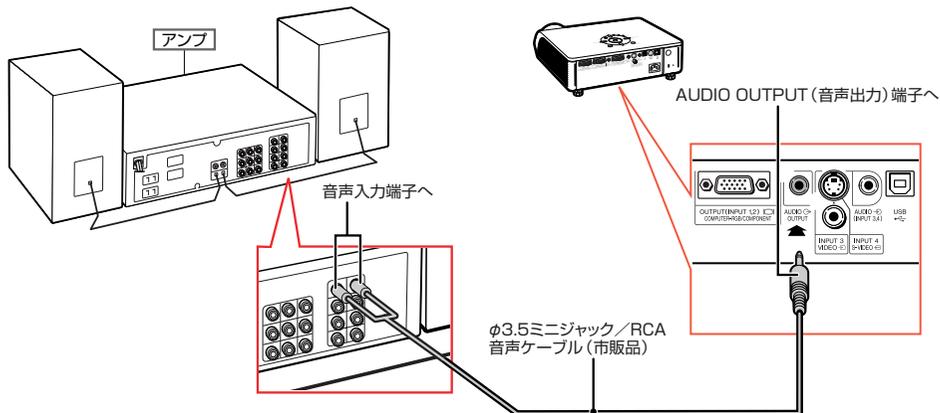


## メモ

- RGB信号およびコンポーネント（色差）信号をモニター出力することができます。
- この接続をする場合、付属のRGBケーブルのほかにもう1本市販のRGBケーブルが必要になります。

# アンプやその他のオーディオ機器と接続する

本機の各AUDIO INPUT（音声入力）端子に接続されている機器から入力された音声をオーディオ機器などへ出力することができます。出力される音声は、選ばれた入力モードの音声出力されます。



## メモ

- 音声ケーブル（市販品）は、φ3.5ミニジャック/RCA音声ケーブルをご用意ください。
- 接続するときは、プロジェクターとオーディオ機器の両方の電源を切ってから行ってください。
- アンプ等と接続して使用している場合、電源を切るときはアンプの電源を切ってから、プロジェクターの電源を切ってください。
- 音声を出力する際の方法は、本機の音声に連動して音声出力が可変する音声出力可変と音声出力固定の2つの方法があります。詳しくは60ページをご覧ください。

# 電源の入れかた/切りかた

## 電源コードを接続する

### AC電源ソケットに電源コードを接続する

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

## 電源を入れるとき

操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。(25~30ページ)

レンズキャップを外し、本体の  またはリモコンの  を押す

- 電源表示が緑色で点灯します。
- ランプが点灯するとランプ表示が緑色点灯します。ランプ表示が緑色点灯してから、プロジェクターの操作を始めてください。
- システムロックが設定されているときは、キーコード入力画面が表示されます。設定したキーコードを入力してください。詳しくは56ページをご覧ください。

### メモ

#### ランプ表示について

- 動作状況を以下のようにお知らせします。
  - 緑色点灯: ランプ点灯中
  - 緑色点滅: ランプ起動中/終了中
  - 赤色点灯: ランプが正常に起動しない(点灯しない)/ランプ交換
- 電源を入れ、ランプが起動してから約1分間は、まれに投影画像がちらつくことがあります。これはランプ制御回路が出力を安定させるための動作であり、故障ではありません。
- プロジェクターを待機状態にした直後に再び電源を入れると、ランプ(光源)が起動するまで多少時間がかかる場合があります。

## 電源を切る(待機状態にする)とき

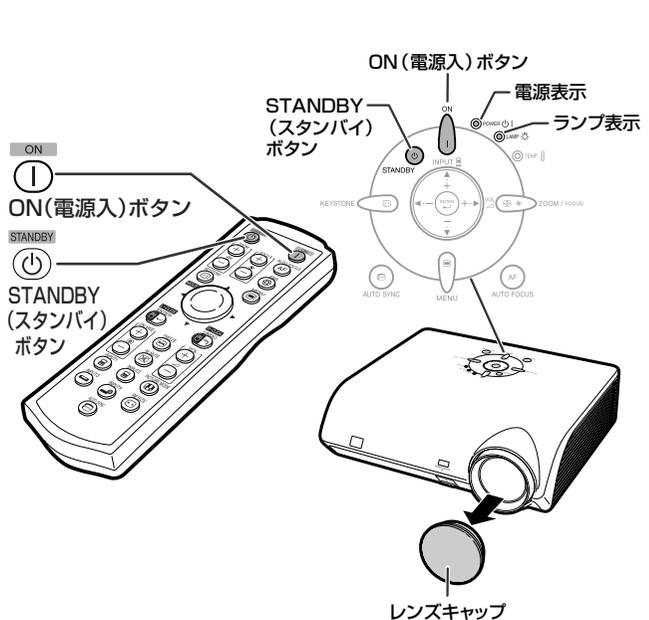
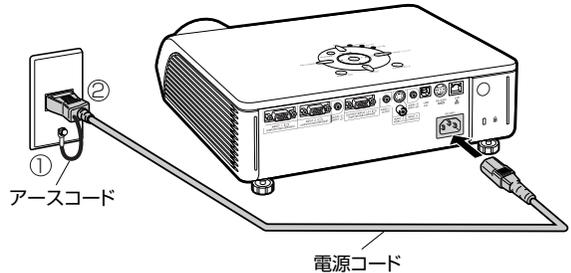
1 本体の  またはリモコンの  を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

2 冷却ファンが停止してから、電源プラグをコンセントから抜く

付属品



電源コード (1.8m)



### ▼画面表示

 プロジェクターを待機状態にしますか？  
決定: もう一度押す 中止: 少し待つ

終了中です。しばらくお待ちください。

### お知らせ

- 投影中および冷却ファンの動作中(待機状態にした後、約90秒間)は、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に停止するため、温度上昇により故障の原因となります。

# 投映のしかた

## アジャスターを使って角度を調整する

プロジェクターよりスクリーンが高い位置にあるときや、スクリーンに傾斜があるとき、または設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを調整することができます。プロジェクターは、できるだけスクリーンと直角になるように設置してください。

### 1 高さ調整ボタンを押す

- アジャスターが出ます。

### 2 高さ調整ボタンを押したまま、プロジェクターを持ち上げて高さ調整する

- 設置位置から約12度まで6段階の角度調整ができます。
- プロジェクターを押し下げるとき、設置面がすべりにくいとアジャスターが動きにくいことがあります。その場合はプロジェクターを少し後方にずらしながら、押し下げてください。

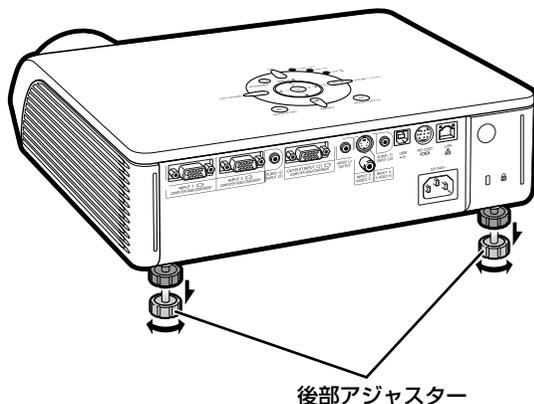
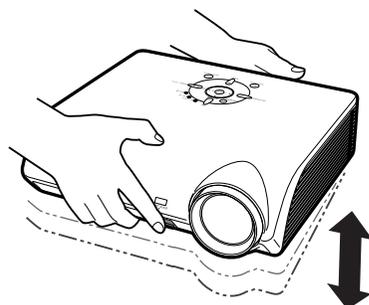
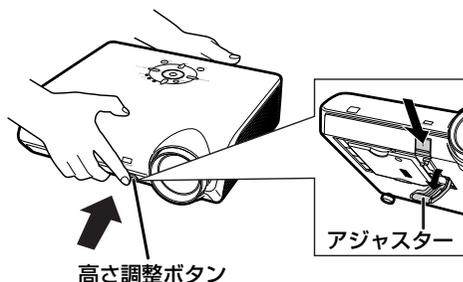
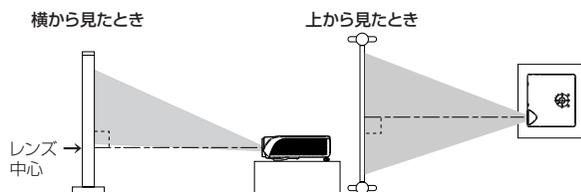
### 3 お好みの高さになったところで、高さ調整ボタンから手を離す

### 4 後部アジャスターを回して、高さや傾きを微調整する

- 投映角度を調整すると投映画像が台形に歪みます。本機はオート Keystone 機能で台形歪みを自動補正します。(オート Keystone 「」(オン)時、59ページ) オート Keystone が働いた後、さらに微調整したいときは、手動で補正してください。(33ページ)

#### お知らせ

- アジャスターが出ている状態で高さ調整ボタンを押すときは、プロジェクターをしっかりとささえて高さを調整してください。
- プロジェクターを上下させるとき、レンズを持たないでください。
- プロジェクターを下げる際には、アジャスターとプロジェクターのすき間に指を挟まないようにご注意ください。



## 画面の台形歪みを補正する (キーストーン補正)

### 自動補正

映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投射すると、映像が台形に歪みます。この台形の歪みを補正する機能がキーストーン補正です。

本機は映像の台形歪みを自動的に補正する「オートキーストーン機能」が搭載されており、上下に約12度までの傾きであれば自動的に補正します。

### メモ

- 「オートキーストーン機能」を使用しない場合は、「オプション2」メニューの「オートキーストーン」を「OFF」(オフ)に設定してください。

### 手動補正

オートキーストーン機能が働いた後、さらに微調整したい場合や、オートキーストーン機能を使わずに補正したい場合は、次の操作で手動補正することができます。

## 1 リモコンの を押す

- キーストーン補正画面になります。
- 本体の **KEYSTONE**  ボタンを使うことができます。

## 2 リモコンの▲、▶または▼、◀を押し、調整する

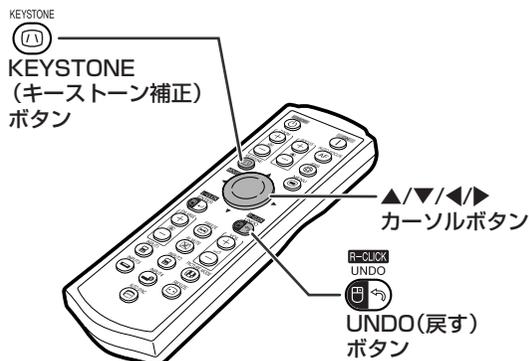
- 本体の▲、▶または▼、◀を使ってキーストーン補正值を調整することもできます。

### メモ

- キーストーン補正調整を取り消すときは、**RECLICK UNDO**  を押します。
- 調整中、直線や表示された映像の端がギザギザになっているように見えます。

## 3 リモコンの を押す

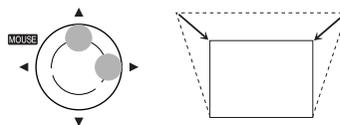
- キーストーン補正画面が解除されます。
- 本体の **KEYSTONE**  ボタンを使うこともできます。



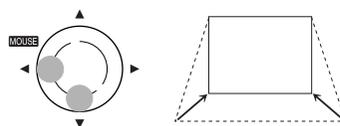
### ▼画面表示(キーストーン補正画面)



### 上辺を縮める



### 下辺を縮める



### メモ

- 手動でキーストーン補正できる角度は、スクリーンに対して上下±約30度までです。画像表示モード:「標準」(コンピュータ入力信号の場合)/「ズーム」(ビデオ入力信号の場合)スクリーンをその角度まで傾けて設置することもできます。
- 横方向のキーストーン補正は行えません。
- 4:3ズーム画面で設定した内容は、そのまま16:9でも有効です。

# 投映のしかた(つづき)

## フォーカス(ピント)を調整する

本機は起動時にフォーカス(ピント)を自動調整する「オートフォーカス機能」を搭載しています。オートフォーカス機能が働いた後、もう一度フォーカス調整したい場合は、次の操作でオートフォーカスを働かせることができます。

本体の **AF** またはリモコンの **AUTO FOCUS** を押す

- フォーカスパターンが表示され、フォーカスが自動調整されてフォーカスパターンが消えます。

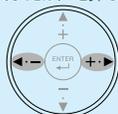
### メモ

- オートフォーカスが可能な範囲は40型~100型です。
- スクリーンの状態や周囲の明るさによっては、オートフォーカスで調整できない場合があります。
- オートフォーカスでピントが合わないときや、微調整したいときは、手動でフォーカス調整をしてください。

#### 本体のボタンで調整するとき

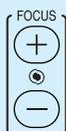
- ZOOM / Focus を押す

- または、**ENTER** を押して調整

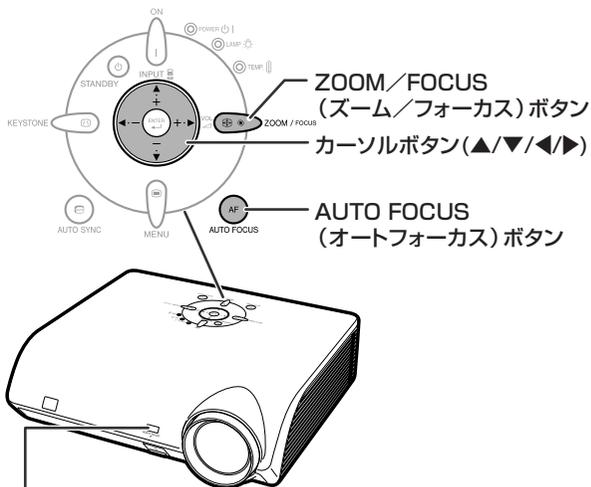


#### リモコンのボタンで調整するとき

FOCUS (フォーカス) ボタンを押して調整



- 起動時に「オートフォーカス機能」を使用しない場合は、「オプション2」メニューの「オートフォーカス」を「OFF」にしてください。



#### オートフォーカスセンサー

オートフォーカスセンサーとスクリーンの上に障害物があったり、オートフォーカスセンサーにゴミやホコリが付着していると、オートフォーカスが正常に機能しない場合があります。障害物やゴミ、ホコリを取り除いてください。

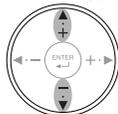


## 投映画像の大きさを調整する

#### 本体のボタンでズーム調整するとき

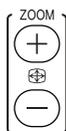
- ZOOM / Focus を押す

- または、**ENTER** を押して調整



#### リモコンのボタンでズーム調整するとき

ZOOM (ズーム) ボタンを押して調整



### メモ

手動でフォーカス調整するときや、ズーム調整するとき

- リモコンのFOCUS (フォーカス) ボタンやZOOM (ズーム) ボタンを押した後、または本体のZOOM / FOCUS (ズーム/フォーカス) ボタンを押した後に、ENTER (決定) ボタンを押すとテストパターンを表示できます。より正確な調整をするときに便利です。

## 入力を切り換える

接続した機器にあわせて、入力モードを選択します。

リモコンの 、、 または  を押し、入力モードを選ぶ

- 本体の▲または▼を押すと、

→入力1↔入力2↔入力3↔入力4←

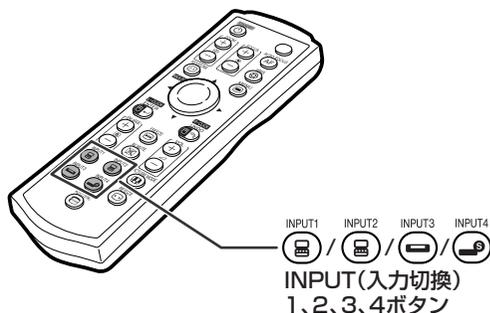
の順番で切り換わります。

### メモ

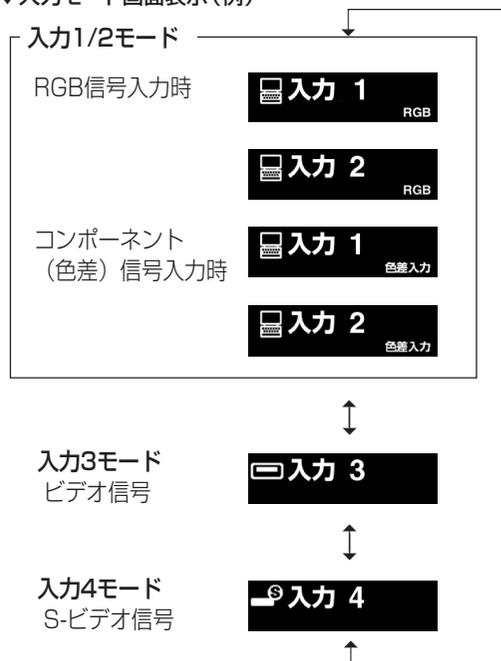
- 信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで認識できない信号を受けると、「判別不能」と画面表示されます。
- 「オプション1」メニューの「OSD表示」が「」（切）に設定されていると、入力モードは表示されません。(53ページ)

### 入力モードについて

入力1/入力2 (RGB/色差)	RGB入力端子に接続した機器のRGB信号またはコンポーネント(色差)信号を投映したいとき
入力3 (ビデオ)	ビデオ入力端子に接続した機器の映像を投映したいとき
入力4 (S-ビデオ)	S-ビデオ入力端子に接続した機器の映像を投映したいとき



### ▼入力モード画面表示(例)



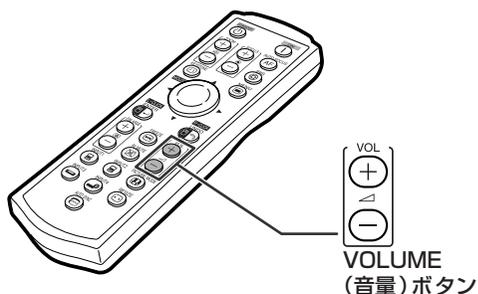
## 本体の音量を調整する

リモコンのVOL(−)/(+ ) を押し、スピーカーの音量を調整する

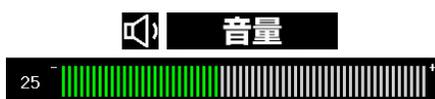
- 本体の◀または▶を押してもスピーカーの音量を調整することができます。

### メモ

- ◀または▶を押すと音量が小さくなります。  
(+ ) または▶を押すと音量が大きくなります。



### ▼画面表示



つづく

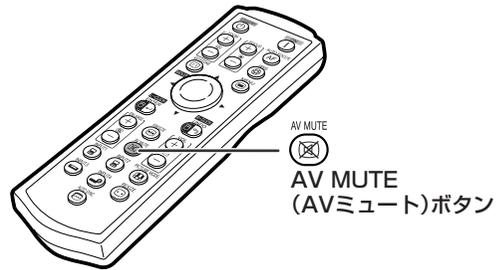
# 投映のしかた(つづき)

## 投映した映像と音声を一時的に消す

映像と音声を一時的に消したいときはリモコンの  を押す

### メモ

- もう一度  を押すと、映像と音声ももどに戻ります。



▼画面表示



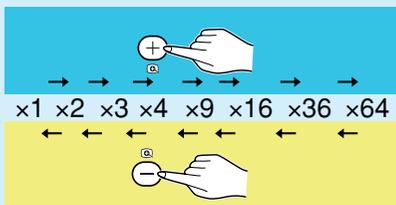
## 画像の一部を拡大表示する

グラフや表など画像の一部を拡大することができます。より詳しい説明をするときに便利です。

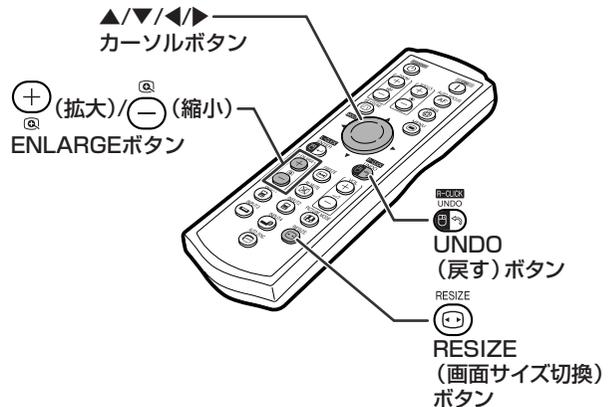
### 1 リモコンの を押す

- ×2の倍率に拡大されます。
-  (拡大) または  (縮小) で、投映画像の拡大、縮小が行えます。

### メモ



-  を使って拡大部分の位置を移動することができます。



### 2 リモコンの を押し解除する

- 倍率は×1に戻ります。

### メモ

次の場合、拡大された画像がもとの大きさ(×1)に戻ります。

- 入力切換を行ったとき
-  を押したとき
-  を押したとき
- 入力信号を変更したとき
- 入力信号の解像度やリフレッシュレート(垂直周波数)が変わったとき

## 画像を静止状態にする

投映中の画像を静止画にすることができます。より詳しい説明をするときに便利です。

### 1 リモコンの を押す

- 投映中の画像が静止画になります。

### 2 を再度押すと、接続した機器の現在の画像に戻る



## 投映する画像に合わせた映像モードを選ぶ

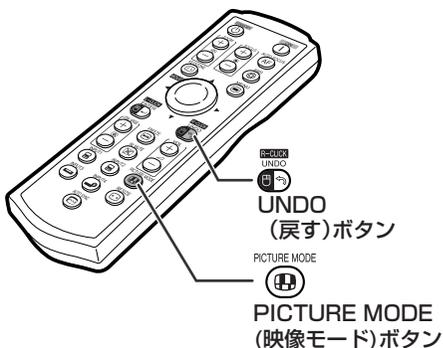
映画やゲームなど投映する画像に合わせた映像モードを選ぶことができます。

### リモコンの を押す

- 押すたびに

→ 標準 → プレゼンテーション → シネマ → ゲーム

の順番で切り換わります。



#### メモ

-  を押すと「標準」に戻ります。
- 映像モードについて、詳しくは46ページをご覧ください。

## 高輝度モード／高コントラストモード切替機能を使用する

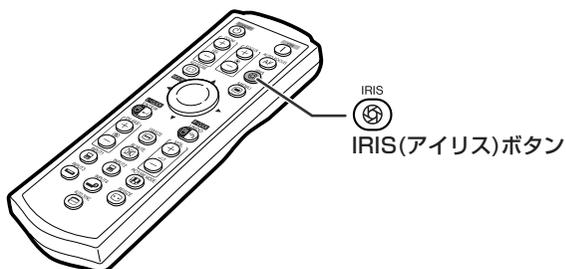
映像の明るさやコントラストの強さを調整できます。

### リモコンの を押す

- 押すたびに「高輝度モード」↔「高コントラストモード」が切り換わります。

#### メモ

- 高輝度モード／高コントラストモードについて、詳しくは48ページをご覧ください。



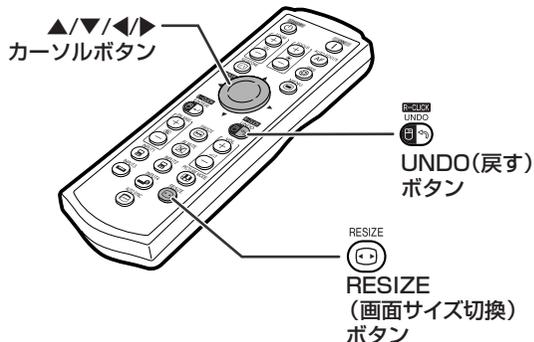
# 投映のしかた(つづき)

入力された信号の種類に合わせて、**画像表示モード**(「標準」・「ドットバイドット」・「ボーダー」・「スクイーズ」・「ズーム」)を切り換えることができます。**38, 39ページ**の表を参考に最適な画像サイズを選んでください。

## 入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ

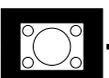
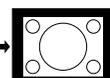
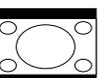
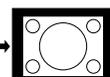
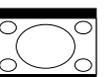
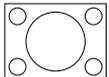
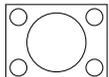
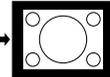
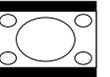
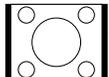
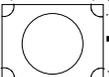
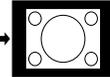
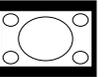
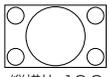
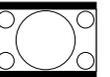
### リモコンのを押す

- 押すたびに、画像表示モードは**38, 39ページ**のように入ります。
- 初期の状態に戻すには、「画面サイズ」が画面に表示されているときにを押してください。
- メニューで操作する場合は**52ページ**を参照してください。



### コンピュータ

		標準	ドットバイドット	ボーダー	スクイーズ
4:3	SVGA (800 × 600)	1024 × 768	800 × 600	768 × 576	1024 × 576
	XGA (1024 × 768)		—		
	SXGA (1280 × 960)		1280 × 960		
	SXGA+ (1400 × 1050)		1400 × 1050		
その他	1280 × 720	—	—	—	960 × 576 1024 × 576

入力信号		表示イメージ			
コンピュータ	画像タイプ	標準	ドットバイドット	ボーダー	スクイーズ
XGAより解像度が低い	 縦横比 4:3	* 	* 	* 	
XGA	 縦横比 4:3	* 	—	* 	
XGAより解像度が高い	 縦横比 4:3	* 		* 	
SXGA (1280×1024)	 縦横比 5:4	* 		* 	
1280×720	 縦横比 16:9	—	—	—	* 

\* それぞれの映像を正しい縦横比と正しい表示範囲で見るためのモード

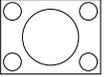
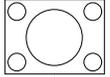
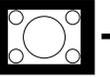
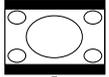
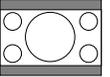
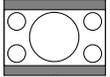
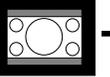
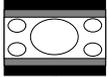
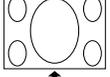
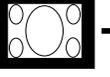
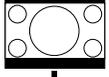
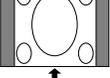
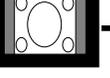
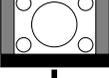
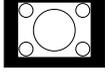
 : マスクされ映像がない部分  
 : パネルからはみ出た信号部分

### メモ

- 「ドットバイドット」に設定してXGAより解像度の高い信号を入力している場合、「画面サイズ」表示が出ている間は、リモコンの▲/▼/◀/▶ボタンでパネルからはみ出た画像を動かして表示させることができます。(ただし、メニューで「画面サイズ」を設定したときは除きます。)

## ビデオ

• 540P、750Pまたは1125Iの信号を入力したときは、「スクイーズ」に固定されます。

入力信号		表示イメージ		
DVD / ビデオ	画像タイプ	ズーム	標準	スクイーズ
525I, 525P, NTSC, PAL, SECAM	 縦横比 4:3	* 	* 	
	 レターボックス	* 	* 	
	 スクイーズ 16:9の画像			* 
	 スクイーズ 4:3の画像			* 
540P, 750P, 1125I (16:9)	 縦横比 16:9の画像	—	—	* 
	 縦横比 16:9 (16:9スクリーンに4:3 の画像を投映)	—	—	* 

\* それぞれの映像を正しい縦横比と正しい表示範囲で見するためのモード

■ : マスクされ映像がない部分

■ : 元の信号自体に映像がない部分

## 本機に入力される信号と表示について

DVD やデジタルビデオなどAV機器から入力される信号を、本機はINPUTボタンを押したときに表示します。表示される信号は、有効走査線数と総走査線数を表示しますので、次のようになります。

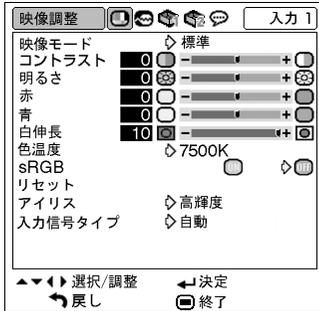
入力信号	本機の表示 (有効走査線数 / 総走査線数)
525I	480I/525I
525P	480P/525P
750P	720P/750P
1125I	1080I/1125I

# メニュー内容一覧

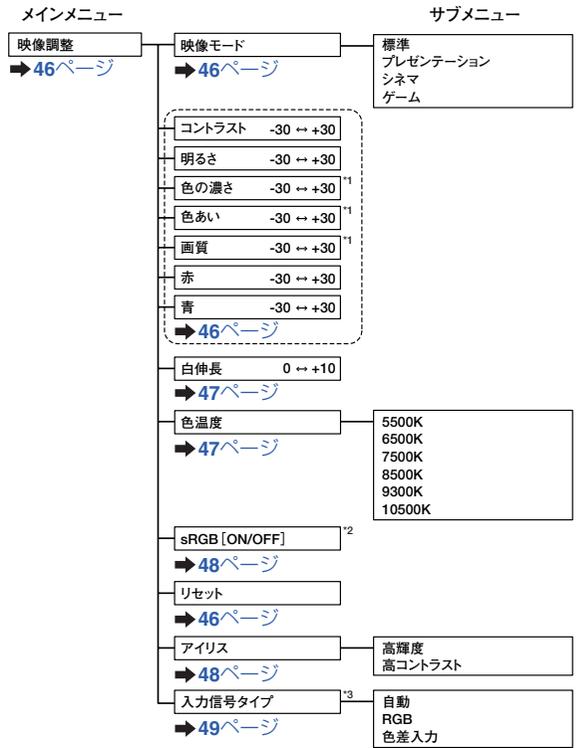
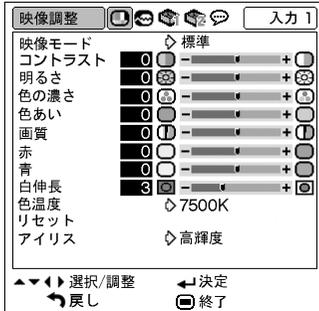
次の項目が本機で設定できます。

## 「映像調整」メニュー

### 入力1 (RGB) / 入力2 (RGB)



### 入力1 (色差) / 入力2 (色差) / 入力3 / 入力4



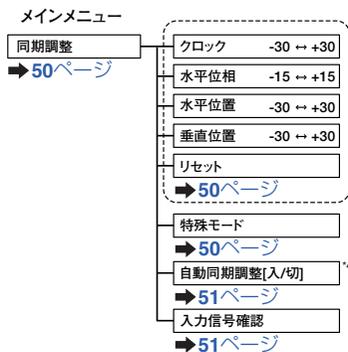
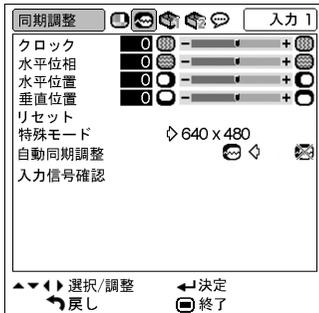
\*1 入力1 か入力2 にコンポーネント (色差信号) が入力されているとき、または入力3 か入力4 を選択しているときに設定できる項目です。

\*2 入力1 か入力2 にRGB信号が入力されているときに設定できる項目です。

\*3 入力1 か入力2 を選択しているときに設定できる項目です。

## 「同期調整」メニュー

### 入力1 / 入力2



\*4 入力1 か入力2 にRGB信号が入力されているときに設定できる項目です。



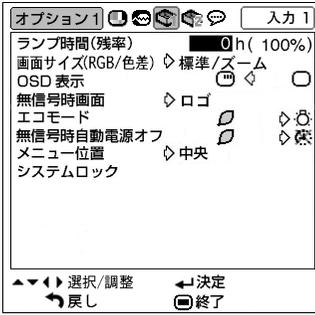
メモ

本機の入力がINPUT1 (入力1) / INPUT2 (入力2) のとき

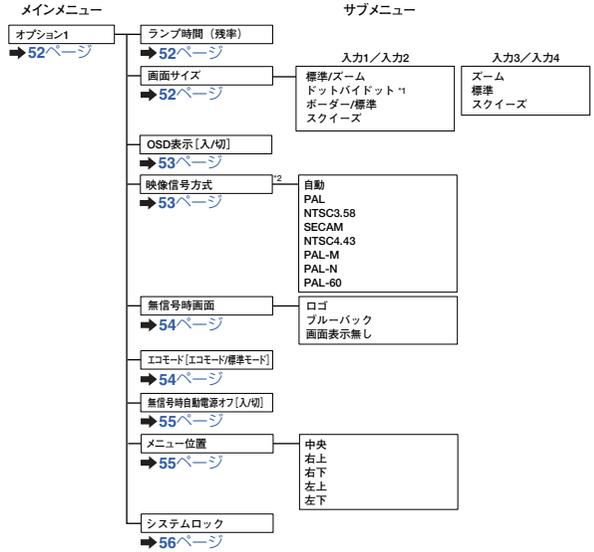
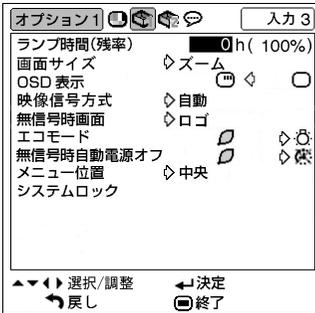
・「同期調整」メニューは本機の入力がINPUT1 (入力1) / INPUT2 (入力2) のときのみ表示されます。

## 「オプション1」メニュー

### 入力1/入力2

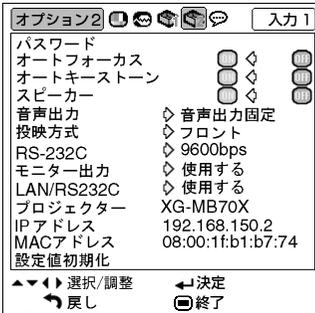


### 入力3/入力4



\*1 入力1 入力2にRGB信号が入力されているときに設定できる項目です。  
\*2 入力3 入力4を選択しているときに設定できる項目です。

## 「オプション2」メニュー

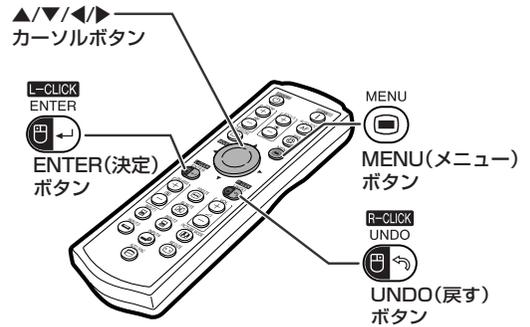
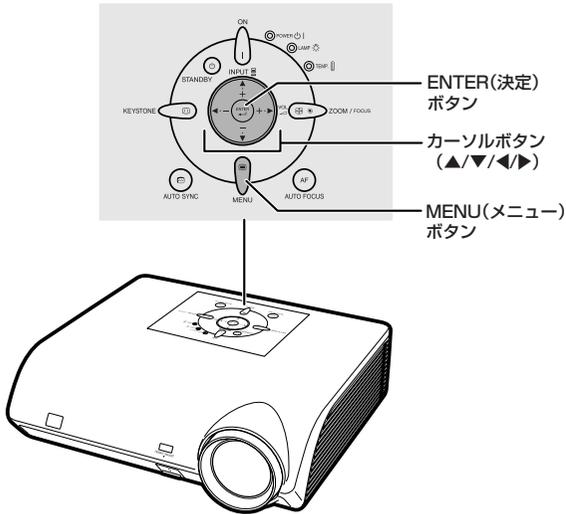


## 「言語選択」メニュー



# メニュー操作のしかた

メニューの操作は調整と設定の2つの方法があります。調整は次の手順に従って行います。  
(設定方法は44~45ページをご覧ください。)



## メニュー画面で調整する

例: 「明るさ」を調整するとき  
• 本体のボタンを使って操作することもできます。

**1** MENU を押す  
• 選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

**2** ▶ または ◀ を押し、調整するメニュー画面を選ぶ  
• 選ばれたメニュー画面のアイコンの色が変わります。

メニューアイコン	メニュー画面
	映像調整
	同期調整
	オプション1
	オプション2
	言語選択

### メモ

- 入力3または入力4のときは「同期調整」メニュー画面は表示されません。

入力1 (RGB)モードの「映像調整」メニュー画面例



### 3 ▲または▼を押し、調整する項目を選ぶ

- 選ばれた調整項目の色が変わります。

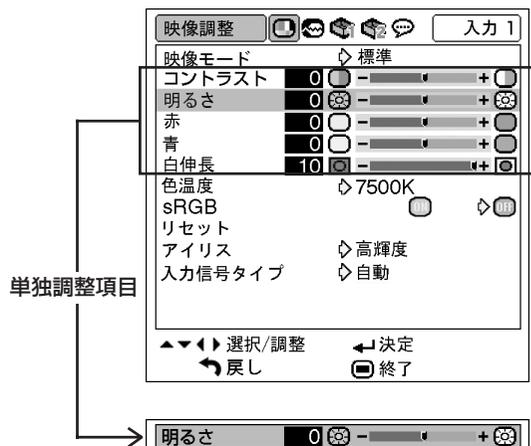
### 投映している画像を見ながら調整したいとき

を押す

- 選んだ単独調整項目(例:「明るさ」など)だけが表示されます。
- この項目の状態で▲または▼を押すと次の項目(「明るさ」の次は「赤」)が表示されます。

メモ

- を押すと、前の画面に戻ります。

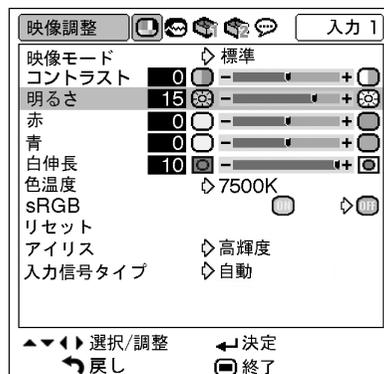


### 4 ◀または▶を押し、選んだ項目の調整(設定)をする

- 調整した内容が保存されます。

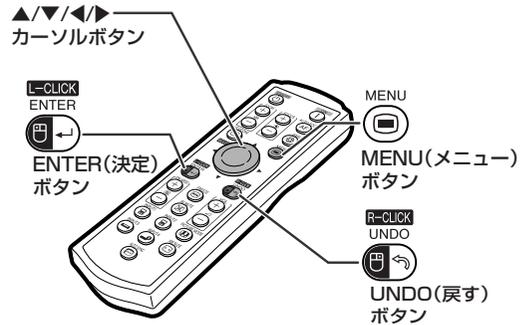
### 5 MENUを押す

- メニュー画面が消えます。



# メニュー操作のしかた(つづき)

メニューの操作は調整と設定の2つの方法があります。設定は次の手順に従って行います。(調整方法は42~43ページをご覧ください。)



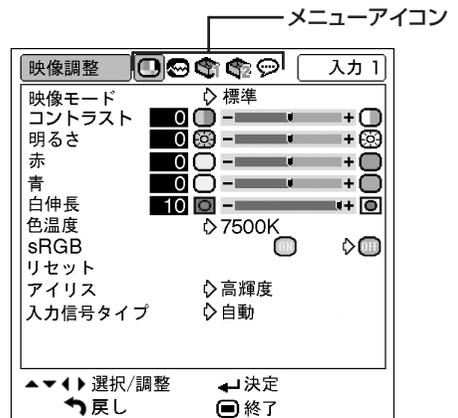
## メニュー画面で設定する

例:「メニュー位置」を設定するとき  
 ・本体のボタンを使って操作することもできます。

### 1 MENU を押す

- 選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

入力1 (RGB)モードの「映像調整」メニュー画面例

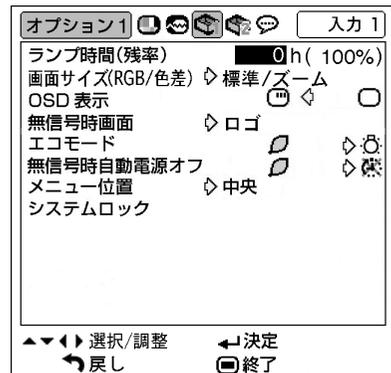


### 2 ▶ または ◀ を押し、調整するメニュー画面を選ぶ

- 選ばれたメニュー画面のアイコンの色が変わります。

メニューアイコン	メニュー画面
	映像調整
	同期調整
	オプション1
	オプション2
	言語選択

例:「オプション1」を選んだとき



### メモ

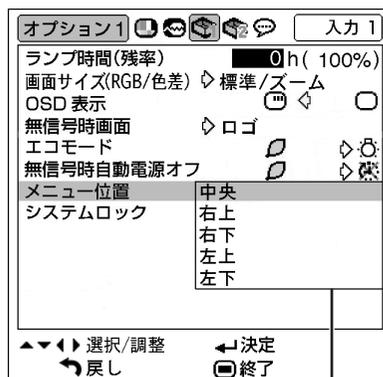
- 入力3または入力4のときは「同期調整」メニュー画面は表示されません。

### 3 ▲または▼を押し、設定する項目を選び、▶を押しサブメニューを表示する

- 選ばれた設定項目の色が変わります。
- 「オプション1」メニュー画面の「システムロック」を選んだときや、「オプション2」メニュー画面の「パスワード」を選んだときは  を押ししてください。

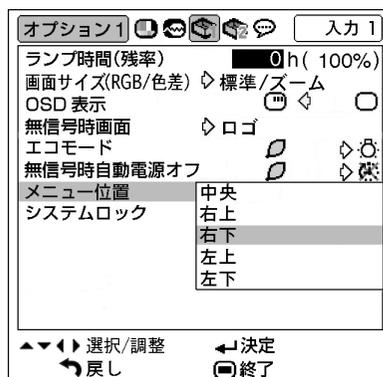
#### メモ

-  または◀を押すと、前の画面に戻ります。
- 項目によっては、◀または▶ボタンを押し  でアイコンを選び設定します。



サブメニュー

### 4 ▲または▼を押し、サブメニュー表示された項目の設定を選ぶ



### 5 を押す

- 選んだ項目が設定されます。

### 6 を押す

- メニュー画面が消えます。

# 投映した映像を調整・設定する(映像調整メニュー)

映像の濃淡や明るさを見やすく調整することができます。

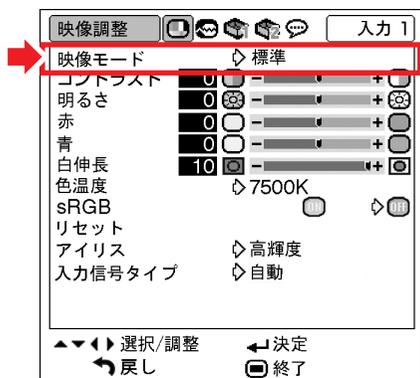
## 映像モードを選ぶ

部屋の明るさや投映する画像の内容に合わせて映像モードを選ぶことができます。

また、映像モードごとに、お好みの映像に調整することができます。調整内容はそのまま記憶されます。

操作方法⇒44ページ参照

### 入力1 (RGB)モードの「映像調整」メニュー画面例



### 映像モード設定の詳細

選択項目	内容
標準	標準の設定です。
プレゼンテーション	明るくメリハリを効かせたいときに設定します。
シネマ	自然な色合いで投映したいときに設定します。
ゲーム	くっきり感を重視した映像を投映したいときに設定します。



メモ

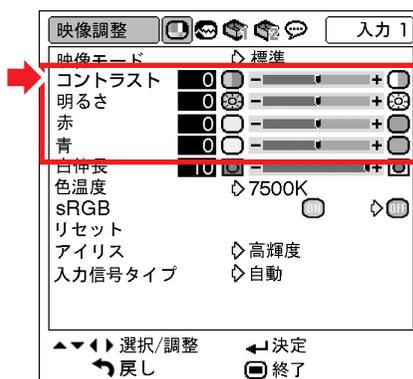
- リモコンのPICTURE MODE (映像モード) ボタンでも設定できます。(37ページ)

## 見やすい映像に調整する

調整するときは、先に映像モードを選んでから行ってください。

操作方法⇒42ページ参照

### 入力1 (RGB)モードの「映像調整」メニュー画面例



### 調整項目の詳細

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
コントラスト	コントラストを弱くします。	コントラストを強くします。
明るさ	画像を暗くします。	画像を明るくします。
色の濃さ <sup>1</sup>	うすい色にします。	濃い色にします。
色あい <sup>1</sup>	紫がかった色あいにします。	緑がかった色あいにします。
画質 <sup>1</sup>	画像の輪郭をやわらかくします。	画像の輪郭をくっきりさせます。
赤 <sup>2</sup>	赤みを弱くします。	赤みを強くします。
青 <sup>2</sup>	青みを弱くします。	青みを強くします。

<sup>1</sup> 以下の条件で入力1/入力2を選んでいるときは、「色の濃さ」「色あい」「画質」は表示されません。

- 「入力信号タイプ」を「RGB」に設定しているとき
- 「入力信号タイプ」を「自動」に設定していて、入力信号がRGBと判別されているとき

<sup>2</sup> 「sRGB」が「ON」に設定されているときは、「赤」、「青」の調整は行えません。



メモ

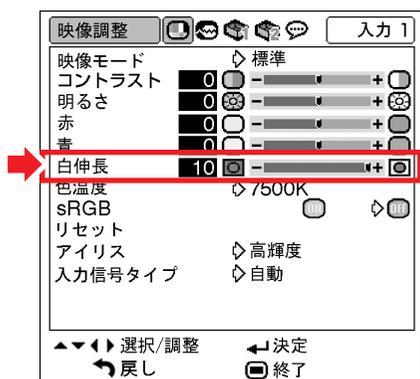
- 入力1または入力2の「入力信号タイプ」が「色差入力」に設定されている場合、または「自動」に設定されていて、入力された信号が「色差入力」と判別された場合の「画質」調整は、525I、525P、540P、576I、576P、750P、1125I、1035Iの信号が入力されているときに行えます。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び、 を押します。

## 白レベル(白伸長)を調整する

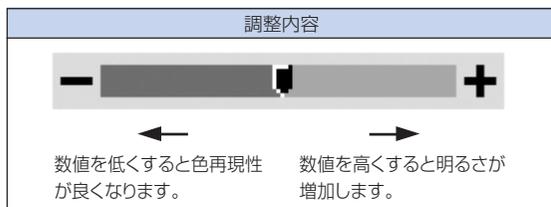
映像の明るい部分をより明るくします。

操作方法▶▶42ページ参照

入力1 (RGB) モードの「映像調整」メニュー画面例



### 白伸長調整の詳細



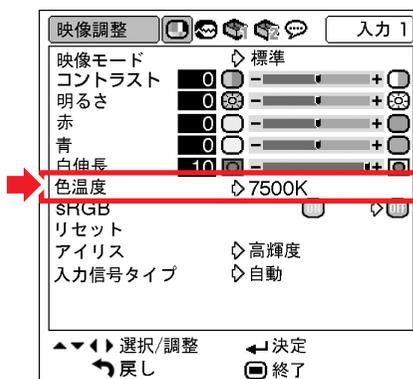
#### メモ

- 「sRGB」が「ON」に設定されているときは、「白伸長」は調整できません。

## 色味を変える(色温度設定)

操作方法▶▶44ページ参照

入力1 (RGB) モードの「映像調整」メニュー画面例



### 色温度設定の詳細

選択項目	内容
5500K	赤みがかった映像になります。 (温かい感じの色にしたいとき)
6500K	
7500K	
8500K	青みがかった映像になります。 (冷たい感じの色にしたいとき)
9300K	
10500K	

#### メモ

- 「色温度」の選択項目の数値はおおよそのものです。
- 「sRGB」が「ON」に設定されているときは、色温度設定は行えません。

# 投映した映像を調整・設定する (映像調整メニュー) (つづき)

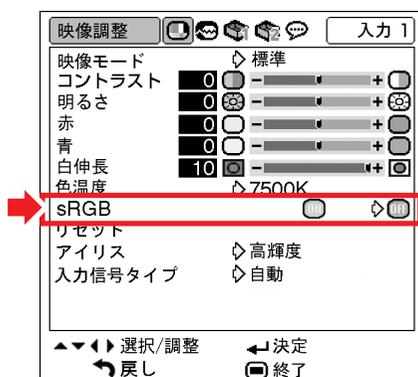
## 原画像に近い色合いにする

(sRGB設定)

コンピュータの映像と投映画像の色合いを合わせたいときに「ON」に設定します。「sRGB」を「ON」に設定すると、原画像に基づいた自然な色あいで表示されます。

操作方法⇒44ページ参照

入力1 (RGB) モードの「映像調整」メニュー画面例



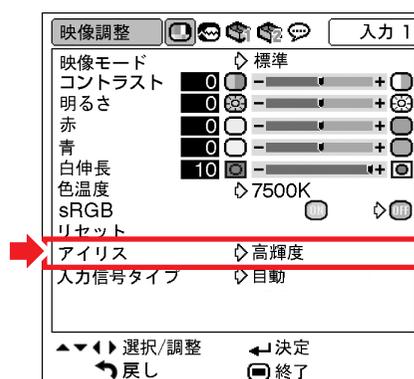
## 高輝度モード/高コントラストモード切替機能を使用する

(アイリス設定)

高輝度モード/高コントラストモード切替機能を使うと、映像の明るさやコントラストの強さを切り換えることができます。この機能はリモコンのIRIS (アイリス) ボタンでも設定できます。

操作方法⇒44ページ参照

入力1 (RGB) モードの「映像調整」メニュー画面例



### アイリス設定の詳細

選択項目	内容
高輝度	コントラストより明るさを優先させたモード
高コントラスト	明るさよりコントラストを優先させたモード

### メモ

- IEC (International Electrotechnical Commission) が規定した色再現性の国際規格です。一定の色の表現領域を定めたもので、「sRGB」を「ON」に設定すると、原画像に基づいた自然な色合いで表示します。
- 「sRGB」が「ON」に設定されているとき
  - 「映像調整」メニューの「赤」、「青」、「白伸長」、「色温度」は調整できません。
- sRGB機能についての詳しい情報は、<http://www.srgb.com/>を参照してください。

### お知らせ

- 「sRGB」を「ON」に設定すると投映画面が暗くなりますが、故障ではありません。

## INPUT1(入力1)/INPUT2(入力2)端子に接続した機器の信号タイプを設定する(入力信号タイプ設定)

INPUT1(入力1)/INPUT2(入力2)端子に接続した入力信号に合わせてRGBかコンポーネント(色差)を選択します。

操作方法➡44ページ参照

入力1 (RGB)モードの「映像調整」メニュー画面例



### 入力信号タイプ設定の詳細

選択項目	内容
自動	入力されている信号がRGB信号か、コンポーネント(色差)信号かを自動的に判別します。
RGB	RGB信号を入力したときに設定します。
色差入力	コンポーネント(色差)信号を入力したときに設定します。

# コンピュータの画面を調整・設定する(同期調整メニュー)

同期調整と表示モードの設定や入力信号の確認が行えます。

## 縦縞模様やチラツキを軽減する (同期調整)

縦縞模様やチラツキが気になるときは同期調整してください。

操作方法⇒42ページ参照

入力1 (RGB) モードの「同期調整」メニュー画面例



同期調整の詳細

調整項目	調整内容
クロック	垂直ノイズを調整します。
水平位相	水平ノイズを調整します(トラッキング調整)。
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させます。
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させます。

### メモ

- コンピュータの映像は「同期調整」メニューの「自動同期調整」を「」(オン)にするか、本体の  またはリモコンの  を使うと、簡単に調整できます。詳細については次のページをご覧ください。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び  を押します。

## 入力信号に合わせた解像度を選ぶ (特殊モード設定)

通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

操作方法⇒44ページ参照

入力1 (RGB) モードの「同期調整」メニュー画面例



### メモ

- コンピュータの1ラインおきに繰り返されるパターン(水平方向の縞模様)を表示させると、チラツキがおこり、画面が見にくくなる場合があります。
- 現在選択されている入力信号の情報を確認する場合は、「入力信号の情報を確認する(入力信号確認)」(51ページ)をご覧ください。

## コンピュータの画面を自動調整する (自動同期調整機能)

操作方法 ➡ 44ページ参照

入力1 (RGB) モードの「同期調整」メニュー画面例



### 自動同期調整機能の詳細

選択項目	内容
 (入)	プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。
 (切)	自動同期調整を行いません。

### メモ

- 自動同期調整は本体の  またはリモコンの  を使って行うこともできます。
- 自動同期調整は投映するコンピュータの映像によっては時間がかかる場合があります。
- 自動同期調整を行っても、お客様の意図した映像にならない場合は、手動で同期調整 (50ページ) を行ってください。

## 入力信号の情報を確認する (入力信号確認)

操作方法 ➡ 44ページ参照

入力1 (RGB) モードの「同期調整」メニュー画面例



### メモ

- DVDやデジタルビデオなどAV機器から入力される信号では、有効走査線数と総走査線数を表示します。

入力信号	本機の表示 (有効走査線数/総走査線数)
525I	480I/525I
525P	480P/525P
750P	720P/750P
1125I	1080I/1125I

# 本機を楽しむための設定をする(オプション1メニュー)

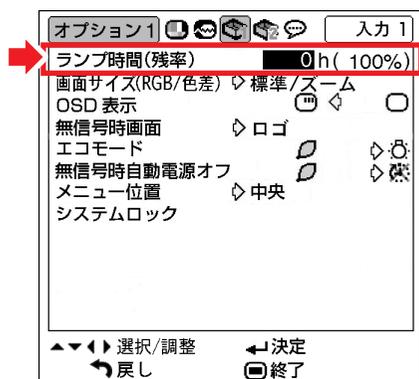
「オプション1」メニュー画面を使ってさまざまな設定を行うことができます。

## ランプ使用時間を確認する (ランプ時間(残率))

ランプの使用時間と残率が表示されます。

操作方法⇒44ページ参照

入力1 (RGB) モードの「オプション1」メニュー画面例



ランプ時間(残率)の詳細

ランプ使用条件	残率表示	ランプ使用可能時間	
		100%	5%
常に「  」(エコモード)にして使用		約3,000時間	約150時間
常に「  」(標準モード)にして使用		約2,000時間	約100時間

### メモ

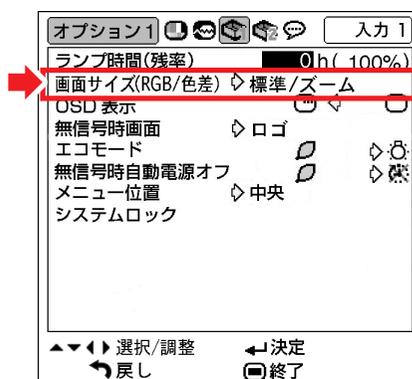
- ランプは、ランプ残率が5%で交換することをおすすめします。
- 上の表は、「」(エコモード)または「」(標準モード)それぞれのモードのみで継続使用した場合を例に記載しています。
- ランプ残率(%)は「」(エコモード)または「」(標準モード)へ切り換える割合により増減します。(54ページ)
- 本機のランプ寿命は、使用状況によって変わることがあります。

## 入力信号の種類によって、画像の表示を切り換える(画面サイズ設定)

入力された信号の種類に合わせて、画面サイズを切り換えることができます。

操作方法⇒44ページ参照

入力1 (RGB) モードの「オプション1」メニュー画面例



画面サイズの詳細

選択項目	
RGB信号入力時	色差/ビデオ信号入力時
標準/ズーム	ズーム
ドットバイドット*1	—
ボーダー/標準	標準
スクイーズ	スクイーズ

\*1 入力1か入力2にRGB信号が入力されているときに設定できる項目です。

### メモ

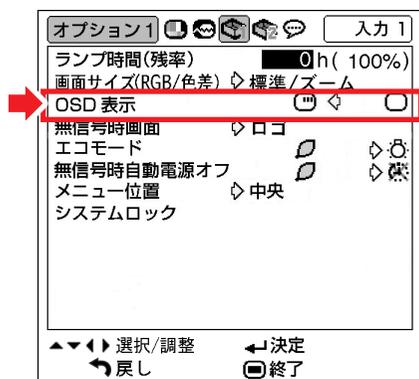
- 画面サイズについて詳しくは、38～39ページをご覧ください。
- 画面サイズはリモコンの  (リサイズ) ボタンでも設定できます。(38ページ)

## 画面に表示されている情報を消す (OSD表示)

この機能を使うと、画面の表示を消すことができます。

操作方法⇒44ページ参照

入力1 (RGB) モードの「オプション1」メニュー画面例



OSD表示の詳細

選択項目	内容
<input checked="" type="radio"/> (入)	画面表示のすべてが表示されます。
<input type="radio"/> (切)	入力モード表示、音量表示、AVミュート、静止画表示、自動同期調整表示、拡大表示、「無効なボタンが押されました。」は表示されません。「キーロック中です。」は、STANDBY (スタンバイ) ボタンが押されたときだけ表示されます。

## INPUT3(入力3)端子/INPUT4(入力4)端子に接続した機器の映像信号方式を設定する(映像信号方式設定)

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されています。しかし「自動」では映像信号方式の違いにより、接続したAV機器の映像が鮮明に投映できない場合があります。そのようなときは、映像信号方式を切り換えてください。

操作方法⇒44ページ参照

入力3 (ビデオ) モードの「オプション1」メニュー画面例



映像信号方式設定の詳細

選択項目	内容
PAL	PAL方式の映像機器を接続したとき
SECAM	SECAM方式の映像機器を接続したとき
NTSC4.43	PAL方式の機器でNTSCの方式の映像を再生したとき
NTSC3.58	NTSC方式の映像機器を接続したとき

### メモ

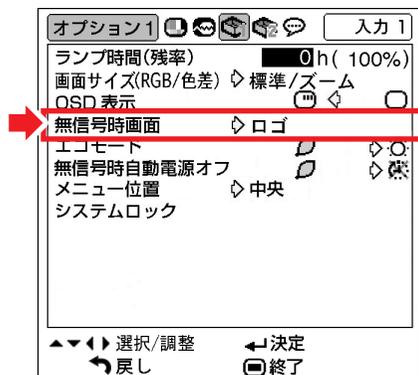
- 映像信号方式は、INPUT1 (入力1) / INPUT2 (入力2) モードでは設定できません。
- 「映像信号方式」が「自動」に設定されている場合は、信号の違いによって鮮明な映像が得られない場合があります。その場合は、「映像信号方式」をそれぞれの入力信号に切り換えてください。

# 本機を楽しむための設定をする(オプション1メニュー)(つづき)

## 無信号時やオープニング時に投映する画面を設定する(無信号時画面設定)

操作方法⇒44ページ参照

入力1 (RGB)モードの「オプション1」メニュー画面例



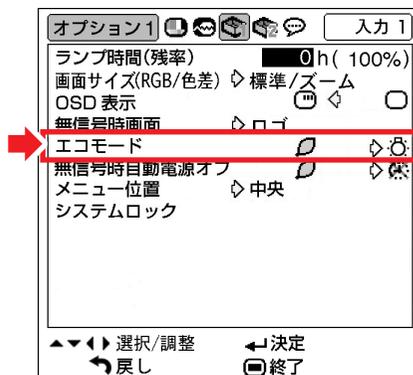
無信号時画面設定の詳細

選択項目	内容
ロゴ	SHARPロゴ画面
ブルーバック	青い画面
画面表示無し	黒い画面

## 消費電力を低減する(エコモード設定)

操作方法⇒44ページ参照

入力1 (RGB)モードの「オプション1」メニュー画面例



エコモード設定の詳細

選択項目	輝度	消費電力(AC100Vのとき)	ランプ寿命
(エコモード)	87%	320W	約3,000時間
(標準モード)	100%	370W	約2,000時間

### メモ

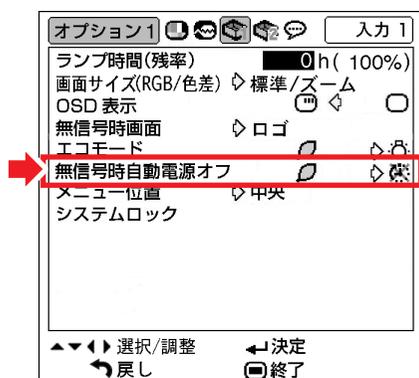
- 「」(エコモード)を選択すると、「」(標準モード)と比べて、消費電力が低減すると同時にランプ寿命が長くなります。(投映画面の輝度も約13%低減します。)

## 無信号状態が続くときに電源を自動的に待機状態にする

(無信号時自動電源オフ機能)

操作方法⇒44ページ参照

入力1 (RGB) モードの「オプション1」メニュー画面例



無信号時自動電源オフ設定の詳細

選択項目	内容
 (入)	15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に待機状態になります。
 (切)	無信号状態が15分以上続いても、電源「入」の状態を保持します。

### メモ

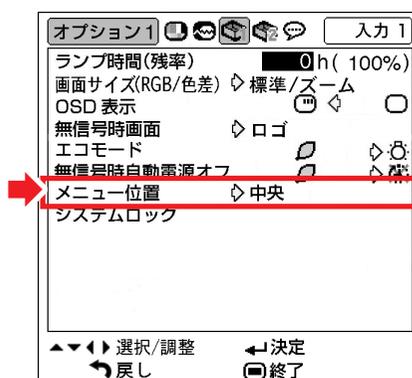
- 無信号時自動電源オフ機能が「」(入)に設定されているときは、待機状態になる5分前になると、1分ごとに「分後に待機状態」の表示がでます。

## メニューを見やすい位置に設定する (メニュー位置設定)

メニュー画面をスクリーンのどこに表示させるのかを設定することができます。

操作方法⇒44ページ参照

入力1 (RGB) モードの「オプション1」メニュー画面例



メニュー位置設定の詳細

選択項目	内容
中央	スクリーン中央にメニュー画面が表示されます。
右上	スクリーン右上にメニュー画面が表示されます。
右下	スクリーン右下にメニュー画面が表示されます。
左上	スクリーン左上にメニュー画面が表示されます。
左下	スクリーン左下にメニュー画面が表示されます。

# 本機を楽しむための設定をする(オプション1メニュー)(つづき)

## プロジェクターを不正に使用できないようにする(システムロック設定)

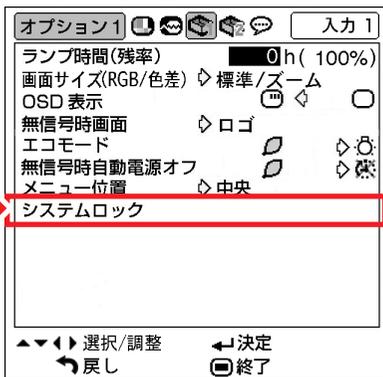
システムロックとは、キーコード(暗証ボタン)を設定することにより、本機を不正に使用できないようにするための機能です。システムロックを解除するには、設定したキーコードを入力します。設定したキーコードは必ずメモしてください。

### お知らせ

- キーコードを忘れてしまった場合はお客様自身でのリセットができませんので、設定したキーコードは、必ずメモしてください。システムロックのリセットは保証期間内であっても有料修理となります。詳しくは修理相談センター(75ページ)にご相談ください。

操作方法⇒44ページ参照

入力1 (RGB) モードの「オプション1」メニュー画面例



## キーコードを設定する

### 1 「オプション1」メニューの「システムロック」を選び、を押す

- メッセージが表示されます。
- メッセージをお読みになり、を押してください。

### 2 本体またはリモコンのボタンを押し、「旧コード」の欄に設定済みの4つのキーコードを入力する

- はじめて設定するときは、本体の▼ボタンを4回押してください。

▼キーコード入力画面



### メモ

- 誤ったキーコードを入力すると、「旧コード」入力行のはじめに戻ります。
- 本機はあらかじめ本体の▼ボタン4つがキーコードとして設定されています。本体の▼ボタン4つは、電源を入れたときにキーコード入力画面を表示させないようにするキーコードです。

### 3 本体のボタンまたはリモコンのボタンを押し、「新コード」の欄に新しい4つのキーコードを入力する

### メモ

- 次のボタンはキーコードとして設定することができません。
  - ON (電源入) ボタン
  - STANDBY (スタンバイ) ボタン
  - L-CLICK/ENTER (左クリック/決定) ボタン
  - R-CLICK/UNDO (右クリック/戻す) ボタン
  - MENU (メニュー) ボタン
  - AUTO FOCUS (オートフォーカス) ボタン
  - ZOOM/FOCUS (ズーム/フォーカス) ボタン
  - ZOOM (ズーム) ボタン
  - FOCUS (フォーカス) ボタン
- リモコンと本体のボタンは、同じ名称のボタンでも別のボタンとして認識されます。本体のボタンをキーコードに設定した場合は、本体のボタンを押します。リモコンのボタンをキーコードに設定した場合は、リモコンのボタンを押します。

### 4 確認欄にもう一度同じキーコードを入力する

### メモ

電源を入れたときにキーコード入力画面を表示させたくないとき

- 手順2と3で本体の▼を4回押してください。

システムロックが設定されているとき

- 「システムロック」が設定されているときは、電源を入れた後にキーコード入力欄が表示されるので、正しいキーコードを入力してください。キーコードを入力しないと、プロジェクターに信号を入力しても画像は投映されません。

## キーコードを変更する

キーコードを変更したいときには、以下の手順で変更する



**1** リモコンまたは本体のボタンを押して、「旧コード」の欄に設定済みの4つのキーコードを入力する

**2** リモコンまたは本体のボタンを押して、新しいキーコードを入力する

**3** 確認欄にもう一度同じキーコードを入力する

## システムロックを設定したとき

システムロックを設定したときは、キーコードを入力し、以下の手順で解除する

▼キーコード入力画面



- システムロックを設定したときは、電源を入れた後、キーコード入力画面が表示されます。
- キーコードを入力しないと、プロジェクターに信号を入力しても画像は投映されません。

**1** リモコンの  または本体の  を押して、電源を入れる

**2** キーコード入力画面が表示されたら、設定したキーコードを入力する

### メモ

- キーコードは、本体のボタンとリモコンのボタンを区別して扱います。本体のボタンでシステムロックを設定した場合は本体のボタンで、リモコンのボタンで設定した場合はリモコンのボタンでキーコードを入力してください。

## システムロックの他に本体の操作ボタンをロックする機能について

本体上面のボタンをロックし、使用中の誤操作やいたずらを防止することもできます。(キーロック機能)

### ■ キーロックの設定のしかた

本体の電源が入っているときに、本体の  を約3秒間押し続ける

▼画面表示



- キーロックをした状態で本機を操作したいときは、リモコンで操作してください。
- 「起動中」と画面表示されているときにはキーロックの設定が行えません。

### ■ キーロックの解除のしかた

本体の電源が入っているときに、本体の  を約3秒間押し続ける

▼画面表示



- 本体が待機状態のときに、本体の  を約3秒間押し続けてもキーロックは解除できます。

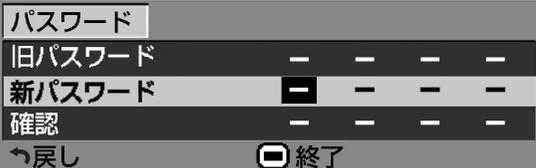
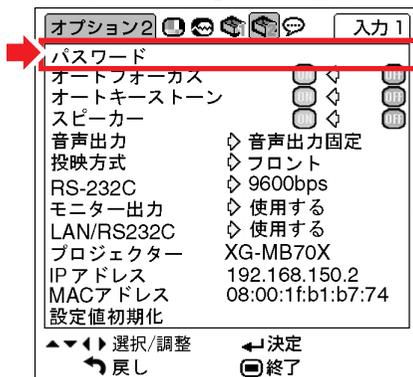
# 設置時に設定しておく便利な機能（オプション2メニュー）

## 「オプション2」メニューを有効にするためにパスワードを設定する（パスワード設定）

- パスワードは、「オプション2」メニューを有効にするための4桁の数字です。
- 工場出荷時は、パスワードが未設定の状態のため、「オプション2」メニューは操作できるようになっています。
- 「オプション2」メニューを他の人に操作されたくないときは、パスワードの設定をしてください。

操作方法➡44ページ参照

「オプション2」メニュー画面例



**1** 「オプション2」メニューの「パスワード」を選び、を押す

• パスワード入力画面になります。

**2** ▲または▼を押し、パスワード番号の1桁目の数字を選択し▶を押す

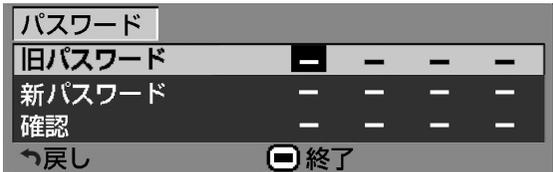
**3** 同様に残りの3桁を入力し を押す

**4** 確認欄にもう一度同じ数字を入力し、を押す

### メモ

- 「オプション2」メニューを使うときに、パスワードを設定している場合は、パスワードの入力が必要です。

## パスワードを変更する



**1** ▼、▲または▶を使って、「旧パスワード」の欄に設定済みのパスワードを4桁入力し、を押す

**2** 新しいパスワードを▼、▲または▶を使って入力し、を押す

**3** 確認欄にもう一度同じパスワード4桁を入力し、を押す

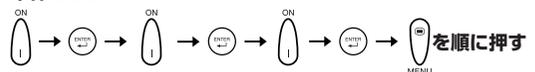
### メモ

- パスワードを未設定状態にしたいときは、手順2と手順3でパスワードを入力しないで を押ししてください。
- 設定を途中で止めるときは、 を押します。

## パスワードを忘れてしまったら

もしパスワードを忘れてしまったら、次の方法でパスワードを解除してください。パスワードを解除した後、あらためてパスワードを設定してください。

### 本体のボタン



### メモ

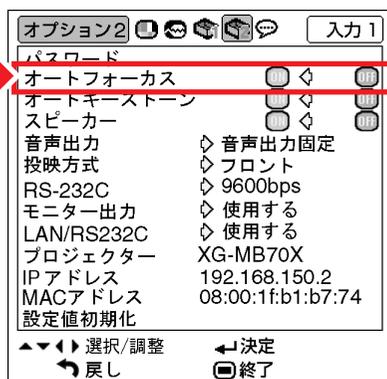
- を3秒以上押しすと、キーロック状態になります。（57ページ）
- パスワードを解除するときは本体のボタンを押してください。

## 起動時に自動でフォーカス(ピント)を合わせる(オートフォーカス設定)

本機を起動したとき、自動的にフォーカスパターンを表示して、フォーカス(ピント)を自動調整します。

操作方法⇒44ページ参照

「オプション2」メニュー画面例



オートフォーカス機能の詳細

選択項目	内容
<input type="radio"/> (オン)	起動時にピント調整を自動的に行います。
<input type="radio"/> (オフ)	起動時にピント調整を自動的に行いません。

### メモ

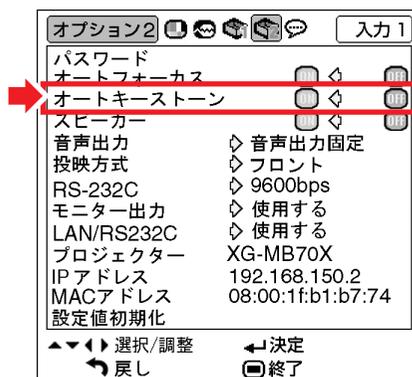
- オートフォーカスが可能な範囲は、40型～100型です。
- スクリーンの状態や周囲の明るさによっては、オートフォーカスで調整できない場合があります。
- 本機とスクリーンの距離が常に変わらない設置(固定設置)をしている場合は、「オートフォーカス」を「」(オフ)にしておくことをおすすめします。
- オートフォーカス機能は、本体の またはリモコンの ボタンでも行えます。
- オートフォーカスでピントが合わないときや、微調整したいときは、手動でフォーカス調整をしてください。(34ページ)

## 自動で画面の台形歪みを補正する(オートキーストーン設定)

映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投影すると、映像が台形に歪みます。この台形の歪みを自動的に補正します。

操作方法⇒44ページ参照

「オプション2」メニュー画面例



オートキーストーン機能の詳細

選択項目	内容
<input type="radio"/> (オン)	投影された画像の台形歪みを自動的に補正します。
<input type="radio"/> (オフ)	台形歪みを自動的に補正しません。

### メモ

- オートキーストーン機能で補正できる角度は、スクリーンに対して上下に約12度までです。
- スクリーンが斜めるときや、映像品位が気になるときは「オートキーストーン」を「」(オフ)に設定してください。
- オートキーストーンが働いた後、さらに微調整したい場合は、手動で補正することができます。(33ページ)

# 設置時に設定しておく便利な機能 (オプション2メニュー) (つづき)

## 内蔵スピーカーのオン/オフを設定する(スピーカー設定)

外部アンプと本機を接続した場合など、内蔵スピーカーの音声をオンにするか、オフにするかを設定します。

操作方法⇒44ページ参照

「オプション2」メニュー画面例



スピーカー設定の詳細

選択項目	内容
<input type="radio"/> (オン)	内蔵スピーカーから音声が出ます。
<input type="radio"/> (オフ)	内蔵スピーカーから音声がなくなります。

## 音声出力を設定する(音声出力設定)

AUDIO OUTPUT (音声出力) 端子から出力される音声レベルを固定するか、VOLUME (音声) に連動して可変させるかを設定します。

操作方法⇒44ページ参照

「オプション2」メニュー画面例



音声出力機能の詳細

選択項目	内容
音声出力固定	入力された音声信号をそのまま出力します。
音声出力可変	本機の音量調整に連動して、出力される音声信号が可変します。

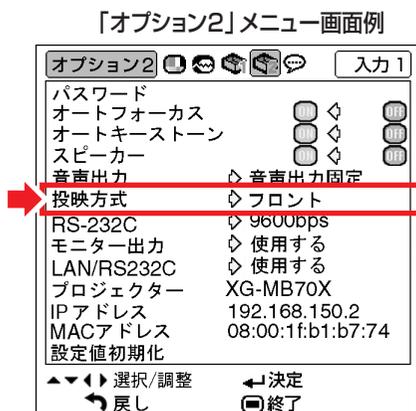
### お知らせ

- 音声出力を「音声出力可変」に設定したときは、本機の音量を最小にしてから、電源の入/切、入力切替を行ってください。

## 投映環境に合わせた投映方式を選択する(投映方式設定)

本機は投映する環境に合わせて映像を左右／上下反転する機能を備えていますので、いろいろな対応が可能です。

操作方法⇒44ページ参照



### 投映方式設定の詳細

選択項目	内容
フロント	通常映像
天吊り	上下反転された映像
リア	左右反転された映像
天吊り+リア	左右／上下反転された映像

#### メモ

- この機能はプロジェクターをスクリーンの後ろから投映したり、天井に取り付けて投映する場合に設定します。

## RS-232Cの通信速度を設定する(RS-232C設定)

プロジェクターとコンピュータの通信速度は同じ速度に合わせてください。

操作方法⇒44ページ参照

### 「オプション2」メニュー画面例



### RS-232Cの詳細

選択項目	内容
9600bps	通信速度が遅い
115200bps	通信速度が速い

#### メモ

- 詳細については、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップガイド」をご覧ください。
- コンピュータの通信速度の設定はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

# 設置時に設定しておく便利な機能 (オプション2メニュー) (つづき)

## 電源が待機状態時の消費電力をおさえる(モニター出力設定)

モニター出力が「使用する」に設定されていると、電源が待機状態でもモニター出力が働き、電力を消費します。モニターを接続していないときは「使用しない」に設定することをおすすめします。電源が待機状態のときの消費電力を減らすことができます。

操作方法⇒44ページ参照

「オプション2」メニュー画面例



モニター出力の詳細

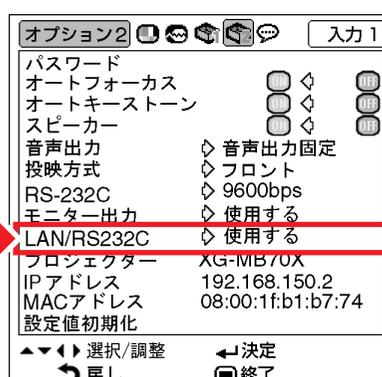
選択項目	内容
使用する	電源が待機状態時でも、モニター出力機能が働きます。
使用しない	電源が待機状態時には、モニター出力機能をオフにします。

## 電源が待機状態時の消費電力をおさえる(LAN/RS232C設定)

LAN/RS232Cが「使用する」に設定されていると、電源が待機状態でもLAN/RS232C機能が働き、電力を消費します。LAN/RS-232Cを使用していないときは「使用しない」に設定することをおすすめします。電源が待機状態のときの消費電力を減らすことができます。

操作方法⇒44ページ参照

「オプション2」メニュー画面例



LAN/RS232Cの詳細

選択項目	内容
使用する	電源が待機状態時でも、LAN/RS232C機能が働きます。
使用しない	電源が待機状態時には、LAN/RS232C機能をオフにします。

### メモ

- LAN/RS232Cで本機を制御する場合には、「使用する」に設定してください。

## 本機のネットワーク情報を確認する

プロジェクター名やIPアドレス、MACアドレスを確認することができます。

操作方法⇒44ページ参照

「オプション2」メニュー画面例



ネットワーク情報の詳細

表示項目	内容
プロジェクター	本機に設定しているプロジェクター名が表示されます。 (出荷設定:XG-MB70X)
IPアドレス	本機に設定しているIPアドレスが表示されます。 (出荷設定値:192.168.150.2)
MACアドレス	本機のMACアドレスが表示されます。

### メモ

- プロジェクター名とIPアドレスの変更のしかたについては同梱のCD-ROMに収録の「セットアップガイド」をご覧ください。

## 設定値を工場出荷状態に戻す

この機能を使って、設定内容を初期化することができます。

操作方法⇒44ページ参照

「オプション2」メニュー画面例



### メモ

#### ネットワーク設定について

- ネットワーク設定は、「オプション2」メニューの「プロジェクター」「IPアドレス」設定および、セットアップガイドに記載のネットワーク設定項目も初期化されます。

次の項目は初期化されません。

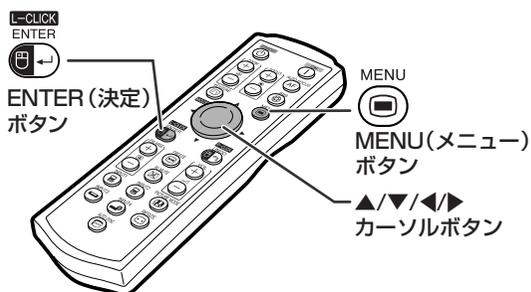
- 「同期調整」メニュー
  - ・ 特殊モード
- 「オプション1」メニュー
  - ・ ランプ時間(残率)
  - ・ システムロック
- 「言語選択」メニュー

# 画面表示言語を日本語以外に変更する（言語選択メニュー）

## 画面に表示する言語を選択する （言語選択）

本機は表示画面の言語として英語、ドイツ語、スペイン語、オランダ語、フランス語、イタリア語、スウェーデン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、日本語に切り換えることができます。

「言語選択」メニューを選び設定する



### 1 リモコンの を押す

- 選んでいる入力モードの「映像調整」メニュー画面が表示されます。

### 2 ◀または▶を押し「言語選択」メニューのアイコン ( ) を選ぶ

- 「言語選択」メニュー画面が表示されます。

### 3 ▲または▼で表示したい言語を選び、 を押す

- 選んだ言語表示になります。

### 4 リモコンの を押す

- メニュー画面が消えます。

#### メモ

- 本体のボタンを使って操作することもできます。

# お手入れのしかた

## キャビネットのお手入れのしかた

- キャビネットをお手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。
- キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふくと変質したり、塗料がはげることがありますのでご使用にならないでください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

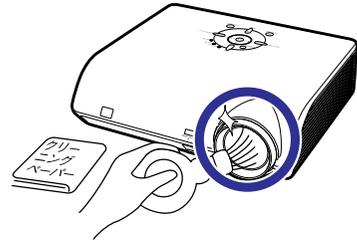
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。  
プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。



- 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。
  - 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

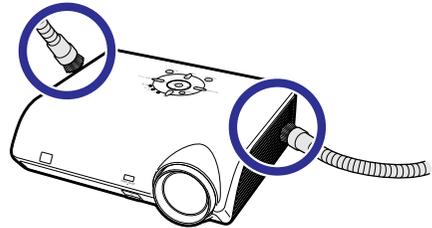
## レンズのお手入れのしかた

- レンズの清掃は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。
- 表面は傷つきやすいのでこすったり、たいたたりしないでください。



## 排気孔や吸気孔のお手入れのしかた

- 排気孔や吸気孔の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。

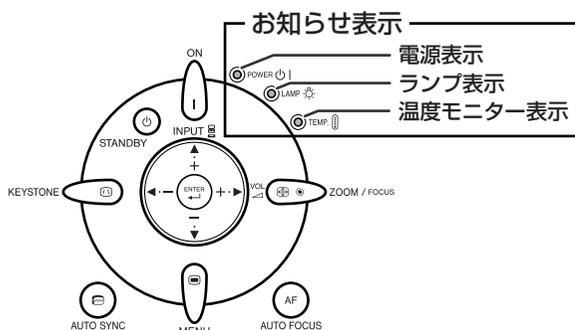


### お知らせ

- プロジェクターの動作中に通風孔の掃除を行う場合は、本体の<sup>STANDBY</sup> またはリモコンの<sup>STANDBY</sup> を押して電源を待機状態にした後、冷却ファンが止まってから、電源プラグを本機から抜いて行ってください。

# お知らせ表示について

- 本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。
- 内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニターもしくはランプ表示が赤色に点灯し電源が待機状態になります。以下の処置を行ってください。



## 温度モニター機能について



設置状況や通風孔の目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に「**温度**」が表示されます。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度モニター表示が点滅、90秒のファン冷却後、待機状態になります。画面左下に「**温度**」の表示が出た時点で**67ページ**の表の内容に従い処置をしてください。

## ランプ交換お知らせ機能について



ランプを交換してください。

- ランプ残率が5%以下になると、「 (黄色)」と「ランプを交換してください。」が画面に表示されます。残り時間が0%になると、「 (赤色)」と「ランプを交換してください。」が画面に表示され、自動的にランプ(光源)が消灯し、電源が待機状態になります。このとき、ランプ表示が赤色点灯します。
- ランプを交換せずに電源を入れ直すと、**4回目からは電源が入らなくなります**のでご注意ください。

お知らせ表示		現 象	考えられる原因	処置のしかた	
正 常	異 常				
温度モニター表示	消 灯	赤色点灯待機状態	内部温度が高温になっている	●通風孔がふさがれている	●正しい設置場所に設置してください。(10ページ)
				●冷却ファンの故障 ●内部回路の故障 ●内部通風孔の目づまり	●販売店、またはもよりのシャープお客様相談窓口(75ページ)に修理を依頼してください。 ●排気孔や吸気孔のお手入れをしてください。(65ページ)
ランプ表示	緑色点灯 (緑色点滅は光源起動中または終了中)	赤色点灯	ランプが正常に起動(点灯)しない	—	●電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで電源を入れてください。
		赤色点灯待機状態	ランプ交換時期	●ランプ残率が5%以下になった	●ランプを交換してください。(69ページ) ●ランプの交換または修理は販売店、またはもよりのシャープお客様相談窓口(75ページ)にお問い合わせください。 ●ランプを交換するときは、注意して行ってください。
		赤色点灯待機状態	ランプ(光源)が点灯しない	●ランプ(光源)が切れた ●ランプ(光源)点灯回路故障	

### お知らせ

- 温度モニター表示が点滅し、電源が待機状態になったときは、排気孔や吸気孔がふさがれていないことを確認(10ページ)し、再度電源を入れてください。再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで(10分以上)待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。
- プロジェクターを使用しているときに、停電などで一瞬電源が切れた直後に電源が復旧した場合、ランプ表示が赤色点灯し、ランプが点灯しなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、再度電源を入れ直してください。
- 投映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

# ランプを交換する

## ランプについて

- 光源として使われているランプは消耗品です。「ランプ時間（残率）」のランプ残率が5%以下になったときは、早めに新しいランプユニット（別売）と交換してください。5%以上のランプ残率でも、使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなってきた場合は早めに新しいランプユニットと交換してください。ランプ残率（パーセント表示）は、画面表示で確認できます。（52ページ参照）
- ランプの保証期間は、6ヵ月1,000時間以内（エコモード：ランプ残率約67% / 標準モード：ランプ残率約50%）です。6ヵ月以内でも1,000時間を超えたり、1,000時間以内でも6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。
- 別売のランプユニット（形名：AN-MB70LP）は、お買いあげの販売店でご購入ください。

### ⚠ 警告

- ランプの強い光は視力障害などの原因となります。プロジェクターが動作しているときは、プロジェクターのレンズや強い光が出ているすき間をのぞきこまないでください。



## ランプ使用上のご注意

- プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。  
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。
- 「ランプ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店にランプの交換と内部の点検を依頼してください。

### ⚠ 警告

- 当ランプが破裂したとき、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気孔から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったり口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。



## ランプ交換時のご注意

### ⚠ 警告

- ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。
- ランプユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。



ランプ交換は、次ページで説明している操作手順に従い注意して行ってください。

\*なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。

\* 新しいランプユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

## ランプ交換のしかた

### お知らせ

- 取っ手をつかんで、ランプユニットを取り外してください。ランプユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
- ケガやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
- ランプユニットカバーとランプユニット以外のネジは絶対に外さないでください。

### 1 本体の またはリモコンの を押しプロジェクターを待機状態にする

- 冷却ファンが止まるまで待ちます。

### 警告

- ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプおよびその周辺が高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

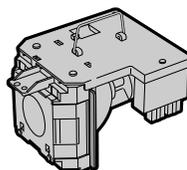
### 2 電源コードをプロジェクターから取り外す

- 電源コードをAC電源ソケットから外します。
- ランプユニットが十分冷えるまで(約1時間)放置します。

### 3 ランプユニットカバーを取り外す

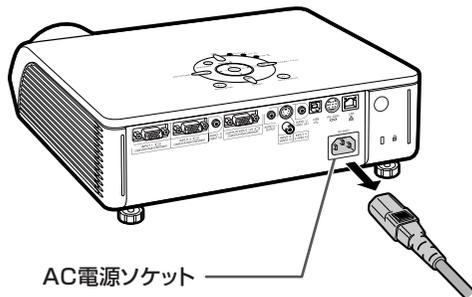
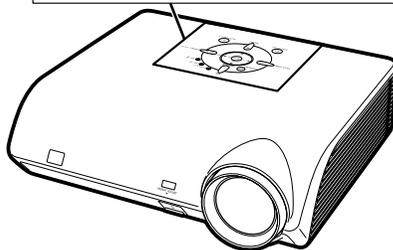
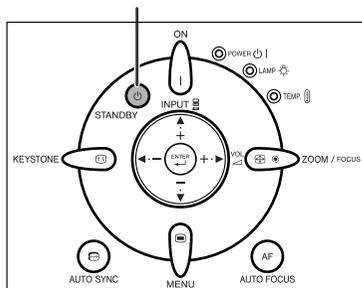
- プロジェクターを裏返しにして、ランプユニットカバーを固定しているランプ交換用ネジをゆるめます(①)。つまみ部分をつかみ、矢印の方向にスライドさせてランプユニットカバーを取り外します(②)。

別売品

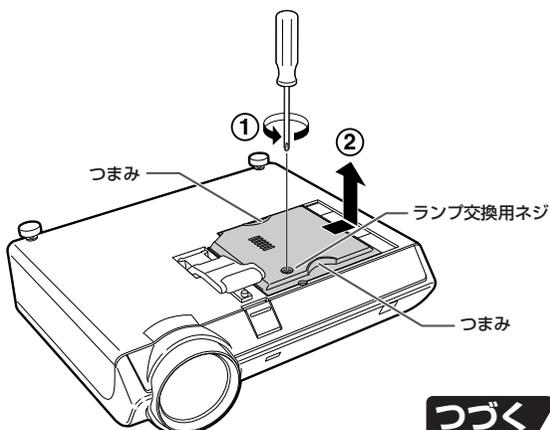


ランプユニット  
形名  
AN-MB70LP

### STANDBY (スタンバイ) ボタン



AC電源ソケット

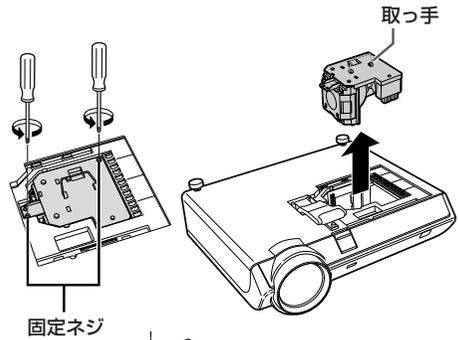


つづく

# ランプを交換する(つづき)

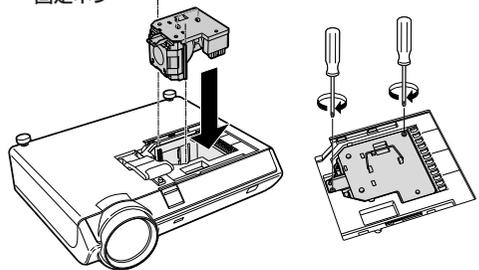
## 4 ランプユニットを取り外す

- ランプユニットの固定ネジ2ヶ所をゆるめ、取っ手をつかんでランプユニットを水平に保ちながら傾けないようにして矢印の方向に引き出します。



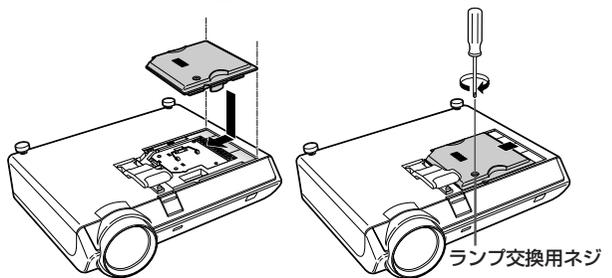
## 5 新しいランプユニットを挿入する

- ランプユニットをしっかりとランプユニット収納部に押し込みます。固定ネジをしめます。



## 6 ランプユニットカバーを取り付ける

- ランプユニットカバーを本体に合わせてからスライドさせランプユニットカバーを取り付けます。ランプ交換用ネジを閉め、ランプユニットカバーを固定します。



### お知らせ

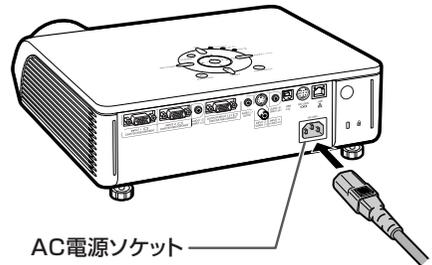
- 電源コードが接続されていてもランプユニットとランプユニットカバーが正しく取り付けられていないと、電源が入りません。

## ランプ使用時間をリセットする

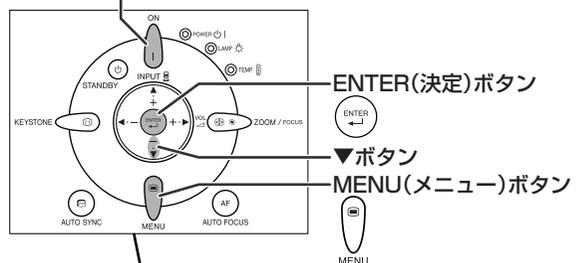
ランプ交換を行ったときは、ランプ使用時間をリセットしてください。

### お知らせ

- ランプ使用時間のリセットは、ランプ交換時以外には行わないでください。ランプ使用時間をリセットして、規定以上ランプを使用すると破裂や故障の原因になります。



### ON (電源入) ボタン

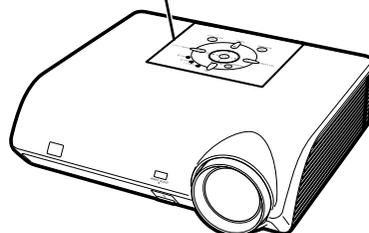


## 1 電源コードをプロジェクトに接続する

- 電源コードをプロジェクトのAC電源ソケットに接続します。

## 2 ランプ使用時間をリセットする

- プロジェクター本体の▼とENTERとMENUを同時に押しながら、ONを押します。
- ランプ使用時間がリセットされ、「LAMP 0000H」が表示されます。



# RGB入力信号(推奨信号)一覧表

下表は本機が対応している信号モード一覧です。映像が乱れる、映らない等の問題がある場合は、下表を参考にコンピュータなどの出力信号を調整してください。

## コンピュータ

- 幅広い信号に対応
  - 水平周波数：15kHz～70kHz
  - 垂直周波数：43Hz～85Hz
  - ドットクロック：12MHz～108MHz
  - 同期信号：TTLレベルに対応。
- シンクオングリーン信号に対応。
- 圧縮表示により、SXGA+、SXGAに対応。
- 圧縮表示／拡大表示技術採用。

下表はVESA準拠モード一覧です。ただし本機はVESA規格以外の信号にも対応しています。

PC/MAC	解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格	ディスプレイ	
PC	VGA	640 × 350	27.0	60	✓	拡大表示
			31.5	70		
			37.5	85		
		640 × 400	27.0	60	✓	
			31.5	70		
			37.9	85		
	720 × 350	27.0	60	✓		
		31.5	70			
		37.9	85			
	640 × 480	26.2	50	✓		
			31.5		60	
			34.7		70	
		37.9	72	✓		
			37.5		75	
			43.3		85	
	SVGA	800 × 600	31.4	50	✓	
			35.1	56		
			37.9	60		
			46.6	70		
			48.1	72		
			46.9	75		
	XGA	1,024 × 768	53.7	85	✓	
			35.5	43		
			40.3	50		
			48.4	60		
			56.5	70		
			60.0	75		
	SXGA	1,152 × 864	68.7	85	✓	
55.0			60			
66.2			70			
SXGA+	1,280 × 1,024	67.5	75	✓		
		64.0	60			
SXGA+	1,400 × 1,050	64.0	60	✓		
		64.0	60			
MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67	拡大表示	
MAC 16"	SVGA	800 × 600	37.8	60		
		832 × 624	49.7	75		
MAC 19"	XGA	1,024 × 768	60.2	75	リアル表示	
MAC 21"	SXGA	1,152 × 870	68.7	75	圧縮表示	

## メモ

- 本機は、同時(CRT/LCD)モードでノート型コンピュータからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型コンピュータ側で液晶表示をオフにして"CRTのみ"モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型コンピュータの取扱説明書に記載されています。
- 本機は640×350 VESA形式のVGA信号を入力した場合、スクリーン上では"640×400"と表示されます。
- RGB形式のインターレース映像信号を本機のINPUT1またはINPUT2に入力して投映するとき、「入力信号タイプ」を「自動」または「RGB」に設定していると、映像信号によってはお客様が意図した映像にならない場合があります。そのような場合は、S映像入力、ビデオ入力をご使用ください。

## DTV

入力信号(有効走査線数)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
525I (480I)	15.7	60
525P (480P)	31.5	60
540P	33.8	60
625I (576I)	15.6	50
625P (576P)	31.3	50
750P (720P)	45.0	60
1125I (1080I)	28.1	50
1125I (1080I)	33.8	60
1125I (1035I)	28.1	50
1125I (1035I)	33.8	60

# 故障かな?と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像も音声も出ない、 またはプロジェクター が始動しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	31
	●接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	●表示させる画面の選択(入力モード)がまちがっていませんか。	35
	●AVミュートの機能が働いていませんか。	36
	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	25, 27~30
	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。	17
	●ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	71
	●ランプユニットカバーは正しく取り付けられていますか。	69, 70
 音声は出るが映像が出ない	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	25, 27~30
	●映像調整の「明るさ」が「-(マイナス)」側いっぱいになっていませんか。	46
 色がうすい、色あいが悪い	●映像調整は、正しく調整されていますか。	46
	<ビデオ入力するとき> ●ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。 <入力1/入力2のとき>	53
	●入力信号タイプのRGB/色差が正しく設定されていますか。	49
 映像がボヤける ノイズが発生する	●レンズのフォーカス(ピント)は合っていますか。	34
	●投射距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	21
	<コンピュータ入力するとき> ●同期調整(クロック調整)を行ってください。 ●同期調整(位相調整)を行ってください。 ●コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	50 50 (-)
 映像は出るが音声が出ない	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	25, 27~30
	●音量が最小になっていませんか。	35
キャビネットから時々 「ピシッ」と音がする	●画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	-
お知らせ表示が点灯する	●「お知らせ表示について」をご覧ください。	66
本体ボタンで 電源を入/待機状態に できない	●キーロックが設定されていませんか。 「ON」に設定されている場合、すべてのボタンが動きません。	57

こんなとき	ここをお調べください	ページ
入力1／入力2の コンポーネントモードで 画面が緑がかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●入力信号タイプが正しく設定されていますか。</li> </ul>	49
入力1／入力2の RGBモードで 画面がピンクがかる		
映像が明るすぎて 白っぽくなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●映像調整は、正しく調整されていますか。</li> </ul>	46
ファンの音が大きくなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内部温度が上昇し、冷却するためファンの回転が早くなるためです。</li> </ul>	-
電源を入れても ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ランプ表示が赤色点灯していませんか。 赤色点灯しているときは、ランプを交換してください。</li> </ul>	66
使用中に突然ランプが 消灯した		
映像が時々ちらつく ことがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>●接続状態や接続機器に問題はありませんか。</li> <li>●頻繁に起こるときは、ランプが故障している場合があります。ランプを交換してください。</li> </ul>	25,27~30 69
電源を入れるとき、 ランプが点灯するまで時 間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ランプは消耗品です。 寿命が近づくと点灯しにくくなることや映像が暗くなる場合があります。 ランプを交換してください。</li> </ul>	69
映像が暗い		

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの妨害ノイズや誤った操作により、正常に動作しない事があります。正常に動作しないときは、一度、電源プラグをコンセントから抜き、約5分おいてから再びコンセントに差し込んで電源を入れ直してください。

# アフターサービスについて

## 保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
  - 光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
  - 光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。  
(6ヵ月以内でも使用時間が1,000時間を超えているときは、保証の対象となりません。)

## ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(75ページ)にお問い合わせください。

## 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるときは 出張修理

- 「故障かな?と思ったら」(72ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

### ご連絡していただきたい内容

品名	: マルチメディアプロジェクター
形名	: XG-MB70X
お買いあげ日	: (年月日)
故障の状況	: (できるだけ具体的に)
ご住所	: (付近の目印も合わせてお知らせください。)
お名前	:
電話番号	:
ご訪問希望日	:

### 保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**便利メモ** お客様へ... お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年 月 日	電話 ( ) —

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

## お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

## 愛情点検



### 長年ご使用のプロジェクターの点検を!

こんな症状はありませんか?

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 電源を入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。
- 画面が映ったり、消えたりする。
- 映像が乱れたり、色がきれいに出不い。
- その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

# お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ..... **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は ..... **お客様相談センター** へ

## 修理相談センター

### ● 修理相談センター(沖縄・奄美地区を除く)

■受付時間 \*月曜～土曜：午前9時～午後6時 \*日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)



0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。  
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

(注) 携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話/PHSでのご利用は .....	一般電話	043-299-3863	06-6792-5511
○ FAXを送信される場合は .....	F A X	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

- ◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、  
下記地区別窓口にも承っております。

■受付時間 \*月曜～土曜：午前9時～午後5時30分(祝日など弊社休日を除く)

(但し、沖縄・奄美地区)は…… \*月曜～金曜：午前9時～午後5時30分(祝日など弊社休日を除く)

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

## お客様相談センター

■受付時間 \*月曜～土曜：午前9時～午後6時 \*日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

東日本相談室	TEL 043 - 297 - 4649	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6621 - 4649	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。(05.03)

品名	マルチメディアプロジェクター	
形名	XG-MB70X	
表示方式	単板DMD™ 3倍速カラーホイール色分離方式	
パネル	パネルサイズ	0.7型
	画素数	786,432 (横1024×縦768) ドット
レンズ	1.5倍電動ズーム／フォーカスレンズ F2.0～2.5 f 21.3mm～31.6mm	
ランプ	275W	
音声出力	2.0W (モノラル)	
スピーカー	だ円型 4.0cm×2.85cm 1個	
定格電圧	AC100V～240V	
定格周波数	50/60Hz	
入力電流	3.9A	
消費電力	AC100V時: 370W (標準モード時) / 320W (エコモード時) AC240V時: 350W (標準モード時) / 300W (エコモード時)	
消費電力(電源スタンバイ時)	6W (AC100V) ～8W (AC240V)	
使用温度範囲	5℃～40℃	
保管温度範囲	-20℃～+60℃	
入力・出力端子	コンピュータRGB/ コンポーネント入力端子 (INPUT1/INPUT2)	RGB分離型アナログ信号／ コンポーネント信号 : 15ピンミニD-sub端子 (INPUT1/2用) : Y1.0Vp-p (75Ω) : P <sub>B</sub> 0.7Vp-p (75Ω) : P <sub>R</sub> 0.7Vp-p (75Ω)
	ビデオ入力端子 (INPUT3)	映像: 1.0Vp-p、75Ω、同期負 : RCAピン端子
	S映像入力端子 (INPUT4)	輝度信号入力: 1.0Vp-p、75Ω、同期負: 4ピンミニDINコネクタ 色信号入力: 0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω
	音声入力端子 (INPUT1/2/3/4)	音声: 0.5Vrms、22kΩ以上 : φ3.5ミニジャック端子 (INPUT1/2/3/4用)
	RGB出力端子 (OUTPUT)	RGB分離型アナログ信号／ コンポーネント信号 : 15ピンミニD-sub端子 (INPUT1/2用) : Y1.0Vp-p (75Ω) : P <sub>B</sub> 0.7Vp-p (75Ω) : P <sub>R</sub> 0.7Vp-p (75Ω)
	音声モニター出力端子 (AUDIO OUTPUT)	音声: 0.5Vrms、2.2kΩ以下 : φ3.5ステレオミニジャック端子 (INPUT1/2/3/4用)
USB端子	4ピンUSB端子 (Bタイプ)	
RS-232C端子	9ピンミニDIN	
LAN端子	8ピンRJ-45モジュラコネクタ	
キャビネット	プラスチック	
外形寸法	幅 310mm、奥行 282mm、高さ 89mm (突起部除く)	
質量	4.1kg	

## お願い

- DMD™素子は非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がいくらかある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご了承ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

## sRGB (48ページ)

IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。一定の色の表現領域を定めたもので、「sRGB」モードを「ON」に設定すると、DLPの特性を考慮した色変換を行い、原画像に基づいた自然な色合いで表示します。

## 圧縮表示／拡大表示 (71ページ)

解像度が低い、または高い映像を投映する場合、プロジェクターの解像度に合わせて映像の画像サイズを調整します。

## 色温度 (47ページ)

プロジェクターに入力された映像のタイプに合わせて、色温度を調節する機能です。自然な肌色を表現したいときは、色温度を下げて、温かさ、赤っぽさを強調し、より明るい画像にしたいときは、色温度を上げて、冷たさ、青っぽさを強調します。

## 画像表示モード (38ページ)

入力された映像の画質をよくするために、画像表示モードを切り換えることができます。「標準」、「ドットバイドット」、「ボーダー」、「スクイーズ」、「ズーム」から選択できます。

## 映像モード (46ページ)

映画やゲームなど投映する画像に合わせた映像モードを選ぶことができます。「標準」、「プレゼンテーション」、「シネマ」、「ゲーム」から選択できます。

## キーストーン補正 (33ページ)

プロジェクターの映像を投映したとき、台形に歪んだ映像をデジタル補正するための機能です。

## キーロック (57ページ)

いたずら防止のため、プロジェクター本体のボタン(キー)操作をロックできます。

## クロック調整 (50ページ)

コンピュータ入力時、映像の縦方向に出る帯状のノイズを低減するための調整です。

## システムロック (56ページ)

プロジェクターに設定されたキーコードを入力しないと、信号を入力しても画像を投映できなくなる機能です。

## 自動同期調整 (51ページ)

コンピュータの画像を最良な状態で投映する機能です。

## 水平位相 (50ページ)

同じ解像度を保ったまま、走査のタイミングを調整します。水平位相が最適でないとき、横方向のノイズをともなって、映像がチカチカします。

## スクイーズ (38ページ)

16:9のワイド画像を4:3(縦長サイズ)に圧縮したスクイーズ映像を投映するとき、映像を均一に左右に引き伸ばして、16:9スクリーンいっばいに投映するモードです。

## 縦横比 (38ページ)

映像の横・縦の比率です。コンピュータやビデオにおける通常の縦横比は4:3です。縦横比が16:9/21:9という横幅の広いワイド映像もあります。アスペクト比と呼ばれる場合もあります。

## ドットバイドット (38ページ)

映像をもとの解像度で投映するモードです。

## 標準 (38ページ)

コンピュータ入力信号の場合

- 投映比率を維持したまま、4:3スクリーンの内側いっばいに画像全体を投映します。

ビデオ入力信号の場合

- 4:3画像を16:9スクリーンの内側いっばいに投映します。(画面の両端がマスクされます。)

## ボーダー (38ページ)

パネルの上下左右をカットした4:3部分にアスペクト比を保ったまま画像を投映するモードです。

## 無信号時画面 (54ページ)

信号が入力されていないときに投映される初期設定映像です。

# 索引

## 記号英数

AC電源ソケット	31
AUDIO INPUT (音声入力) 端子	25、28
AUDIO OUTPUT (音声出力) 端子	30
AUTO FOCUS (オートフォーカス) ボタン	34
AUTO SYNC (自動同期調整) ボタン	51
AV MUTE (AVミュート) ボタン	36
DIN-D-sub RS-232Cアダプター	29
ENLARGE (拡大/縮小) ボタン	36
FOCUS (フォーカス) ボタン	34
FREEZE (静止画) ボタン	37
INPUT (入力) 1端子	25、27
INPUT (入力) 2端子	25、27
INPUT (入力) 3端子	28
INPUT (入力) 4端子	28
INPUT (入力切替) ボタン	35
IPアドレス	63
IRIS (アイリス) ボタン	37
KEYSTONE (キーストーン補正) ボタン	33
LAN/RS232C	62
LAN端子	29
L-CLICK/ENTER (左クリック/決定) ボタン	26、42
MACアドレス	63
MENU (メニュー) ボタン	42
ON (電源入) ボタン	31
OSD表示	53
OUTPUT (出力) 端子	30
PICTURE MODE (映像モード) ボタン	37
RESIZE (画像サイズ切替) ボタン	38
R-CLICK/UNDO (右クリック/戻す) ボタン	26、42
RGBケーブル	25
RGB出力端子	30
RS-232C端子	29
sRGB	48
STANDBY (スタンバイ) ボタン	31
USB端子	25
VOLUME (音量) ボタン	35
ZOOM/FOCUS (ズーム/フォーカス) ボタン	34

## ア行

アイリス	48
青	46
赤	46
明るさ	46
アジャスター	32
色あい	46
色温度	47
色の濃さ	46
映像信号方式	53
映像調整	46
映像モード	46
エコモード	54
オートキーストーン機能	59
オートフォーカス機能	59
オプション1	52
オプション2	58
温度モニター表示	66
温度モニター機能	66

## カ行

画質	46
乾電池	17
キーコード	56
キーストーン補正	33
キーロック	57
吸気孔	10、65
クロック	50
言語選択 (画面表示言語)	64
後部アジャスター	32
コントラスト	46
コンピュータ画面の調整	50

## サ行

システムロック	56
自動同期調整 (AUTO SYNC)	51
収納ケース	20
ズーム (表示イメージ)	38、52
垂直位置	50
水平位相	50
水平位置	50
スクイーズ (表示イメージ)	38、52

## タ行

高さ調整ボタン	32
電源コード	31
電源表示	14
投映方式	61
同期調整	50
盗難防止用コネクター	15
特殊モード	50
ドットバイドット (表示イメージ)	38、52

## ナ行

入力1~4モード	35
入力信号確認	51
入力信号タイプ	49

## ハ行

排気孔	10、15、65
パスワード	58
標準 (表示イメージ)	38、52
付属品	5
別売品	5
ボーダー (表示イメージ)	38、52

## マ行

マウス/カーソルボタン	26、42
無信号時画面	54
無信号時自動電源オフ	55
メニュー位置	55

## ラ行

ランプ	68
ランプ交換	68、69
ランプ表示	66
ランプ時間 (残率)	52
リモコン	16
リモコン受信部	17
レンズキャップ	13

● 製品についてのお問い合わせは…

お客様相談センター

東日本相談室 TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**

西日本相談室 TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は…

[75ページ](#)記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

# シャープ株式会社

本社  
AVシステム事業本部

〒545-8522  
〒329-2193

大阪市阿倍野区長池町22番22号  
栃木県矢板市早川町174番地